

福整広報

福整広報 第39号



社団法人 福岡県柔道整復師会 機関誌



2013.3
No.39

社団法人 福岡県柔道整復師会

目 次

卷頭言 年頭挨拶

会長	松岡保	2~3
副会長・総務部長	塙川哲也	4
副会長・経理部長	小川平八郎	5
副会長・保険部長	村田栄治	5
顧問	間山村修	6
相談役	中野光石	6
相談役	大久保達朗	7
顧問弁護士	堀内恭彦	7
顧問公認会計士	吉村祐二	8

平成24年度 定時総会	議長	石坂修一	9
-------------	----	------	---

理事会報告・会務執行状況報告	副会長・総務部長	塙川哲也	10~17
----------------	----------	------	-------

保険部だより	副会長・保険部長	村田栄治	18~23
--------	----------	------	-------

表彰	日本公衆衛生協会協会長表彰	福岡東支部	梅原隆三	24
	福岡県公衆衛生事業功労者県知事表彰	福岡東支部	吉田洋三	24
	福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰	福岡西支部	重松哲夫	25
		久留米南支部	勢木博之	25
		福岡南支部	中島保幸	26
		筑豊支部	吉村喜彦	26

日整・九プロ 第21回 日本柔道整復接骨医学会学術大会	学術部長	吉村喜彦	27
-----------------------------	------	------	----

第36回 日整全国柔道大会	建築部長	吉村正秀	27
---------------	------	------	----

	福岡南支部	角家豊	28
--	-------	-----	----

	北九州西支部	石坂修一	29
--	--------	------	----

	福岡西支部	富永忠雅	29
--	-------	------	----

	久留米北支部	半田竜也	30
--	--------	------	----

	マネージャー	小林信哉	31
--	--------	------	----

	副会長	小川平八郎	33
--	-----	-------	----

	第39回 日整親善ゴルフ千葉大会	副幹夫	34
--	------------------	-----	----

	久留米北支部	枝光幹夫	34
--	--------	------	----

	大牟田・有明支部	古賀龍児	34
--	----------	------	----

	福岡東支部	吉岡義治	35
--	-------	------	----

	北九州中央支部	岩田隆司	35
--	---------	------	----

	マネージャー	中島保幸	36
--	--------	------	----

	副会長・総務部長	塙川哲也	37
--	----------	------	----

	大牟田・有明支部	古賀龍児	38
--	----------	------	----

県行事	第32回 福岡県少年柔道大会	大会副委員長	重松哲夫	39
------------	----------------	--------	------	----

	第20回 福岡県整骨医学会	学術部長	吉村喜彦	43
--	---------------	------	------	----

	北九州南支部	井手武	44
--	--------	-----	----

	福岡東支部	木下隆	44
--	-------	-----	----

	大牟田・有明支部	庄島太朗	44
--	----------	------	----

	久留米南支部	長村博士	45
--	--------	------	----

	福岡西支部	淀川友義	45
--	-------	------	----

	北九州中央支部	小野健一	45
--	---------	------	----

	久留米北支部	佐藤貴士	46
--	--------	------	----

	九州西支部	松元竜基	46
--	-------	------	----

	副会長・保険部長	村田栄治	47
--	----------	------	----

	副会長・保険部長	村田栄治	48
--	----------	------	----

	学術部長	吉村喜彦	49
--	------	------	----

	大牟田・有明支部	古賀龍児	50
--	----------	------	----

	北九州中央支部	岩田隆司	50
--	---------	------	----

支部活動 (広報通信員)	福岡東支部	梅村忠嗣	/福岡西支部	竹原伸治	/福岡南支部	市川芳恵
	筑豊支部	白木原学	/北九州西支部	西本健二	/北九州南支部	井手武
	北九州中央支部	安東靖眞	/久留米南支部	柴田修一	/久留米北支部	池田昌隆
	大牟田・有明支部	森康徳			 51~59

新入会員紹介 入会にあたって 60~72
-----------------------	-------------

事務局より	事務局後藤祐司	73
--------------	---------	----

誌報 73
-----------	----------

投稿についてのお願い/表紙の写真に添えて(小山田哲)/編集後記	広報部長勢木博之	74
---------------------------------	----------	----



卷頭言



「守りと創造」

(社)福岡県柔道整復師会
会長 松 岡 保

平成25年(2013)の新春を迎え、皆様と一年のスタートを寿ぐとともに、今年が幸多い年であることを心からお祈り申し上げます。

さて、昨年の暮れに行われました第46回衆議院議員選挙におきましては、先生方に並々ならぬご支援、ご協力を賜りまして誠に有り難うございました。結果は皆さんもご存じのように我々日整が永年に亘り支持をしてきた自由民主党が政権を奪還し、安倍新内閣が発足しました。

民主党政権の約3年間、行政刷新会議・事業仕分けに始まり、社会保障審議会医療保険部会まで本当に色々なことがありました。永年培ってきたものが壊れかけたりもしましたが、日整としては一切ぶれること無く自民党を応援してまいりましたので、自民党より高い評価を頂いております。今回の選挙で元に戻りましたので、これから良い方向への話し合いが出来ると思っております。

尚、今回の自民党の政権公約の中に日整として多くの要望を出していたのですが、結果として自民党総合政策集の168番目に柔道整復師の活動の支援という名目で、「柔道整復療養費の適正な見直しと卒後臨床研修の制度化を目指します」「柔道整復師の業務に関して算定基準の明確化と法整備等に努めます」と明記されております。この政策が確実に実行されるよう、日整と協力体制のもと進んでいかなければと思っております。

そして、月日が過ぎるのは早いもので今年は平成16年以来9年ぶりとなる九州ブロック大会の当番の年となり、7月27日(土)、28日(日)に福岡市中央区のニューオータニ博多で開催されます。日整の公益社団法人移行に伴い、事業形態が若干変わっておりますが、会員の先生方に沢山出席して頂くことについては何ら変わりございません。詳細につきましては追って連絡致しますので、皆様のご理解と絶大なるご協力をお願いする次第でございます。

さて、昨年の巻頭言でも述べましたが、公益社団法人への移行について報告させて頂きます。本会は1月25日に開催された第42回福岡県公益認定等審議会において公益社団法人への移行認定の答申が出ました。本誌発行後となりますが平成25年4月1日に登記し、公益社団法人福岡県柔道整復師会としてスタートします。

公益社団法人への移行にあたっては平成22年より2年間に亘り総務部・経理部・顧問公認会計士を中心に会議を重ね、定款諸規程や財政配分の検討を行いました。そして理事会において進捗状況の経過報告や必要事項の承認を経て、平成24年度定時総会において会員の先生方より移行並びに定款諸規程の承認を頂きました。申請自体は昨年8月に行ったのですが、そこから認定までの道のりは思いの外厳しいもので、本会の監督部署である医療指導課、公益担当部署の行政経営企画課による当会の申請に関する指導と修正、予算書や決算書の新しいシステムへの転換などを何度も繰り返しながら、今年に入りようやく公益社団法人に移行することが妥当との結論を頂くことができました。総会でのお約束を果たすことが出来て少し安堵しているところです。

さて、この公益化によって具体的には何が変わると申しますと組織運営として一番変わる部分が、全予算に占める公益目的事業費の割合が51%以上

となることです。例えば、会員皆様からお預かりしているレセプトに関する保険事業も「柔道整復施術療養費の受領委任払い制度の推進に関する事業」として公益事業の一つの柱となっております。

また、総会の権限や機能も大きく変わります。これから総会では前年度決算の審議が中心であって、次年度予算の決定権は理事会に付与されています。これらの点からも役員の責任はこれまで以上に重たいものになります。

そして、公益社団法人になったことで、行政や保険者は勿論、一般の方々や周辺の団体等の我々を見る目が、社会的信頼の高さといった一定の評価を頂く一方、それ故に厳しい見方をされることにも繋がります。公益社団法人として組織的に社会的責任を全うすること、会員個々がコンプライアンス意識を高めること、地域住民に良質な医療を提供すべく本会所属会員の資質を高めることなどが求められます。近年、残念ながら全国的に柔道整復師による不祥事が多発していますが、これらに対しても今後は組織的に厳しい対応が迫られることになります。

これらの問題点を解決し、公益社団法人として組織力を高めるために、本会が実施する事業等には積極的に参加して頂くと共に、施術技術を高めること、卒後臨床研修制度の推進を図ること、そして行政や保険者に対しても、様々なデータを整理・蓄積し対外的な涉外力を高めること、政治力を高めることなどが重要だと考えられます。つまり、公益社団化によってただ単純に看板の架け替えを行うのではなく、本会会員が一丸となって新生・福岡県柔道整復師会を創りあげることが大切です。

最近、会員の集まりがあると、特に若手会員に多いのですが「自分の将来に不安を感じている方」が非常に多く、その数は私の想像を超えていました。私が資格を取得した頃は、柔道整復師としての自分の将来を

考えたとき、夢や希望に溢れていたように思います。

時代が移り変わった現在、柔道整復師の存在そのものが希少価値であった時代はとうに過ぎ去り、これからは柔道整復師のライセンスをベースに、そこから独自の希少価値をそれぞれが磨き上げる時代になりました。その新しい希少価値は学術研鑽、資質の向上は勿論のこと、新しい領域、例えば介護予防事業にチャレンジすることなどもその一つと考えます。つまりは、柔道整復師間の競争時代が到来した現在、これらの「努力の証」がこれからの未来を産み出す事に繋がる訳です。

我々を取り巻く環境は厳しい状況ではございますが、いずれにしましても、自分の将来に不安がある状態は1日も早く克服しなければなりません。本会が果たす役割は、努力できる土壌を作ること、個人が努力した証が認められる環境、そして、公益社団法人の会員であるというメリットを皆様が享受出来る施策運営を図ることにつきます。そして、夢と希望のある職業としての「柔道整復師」であることを誇りたいものです。

最後になりますが、この度の公益社団法人移行に際し、先達が血の滲むような努力で残してくれた「療養費受領委任払い制度」を未来に亘って守り続け、この機会に新しい創造に取り組んでいきたいと思っています。これから更に研究する余地や手探り状態の部分もありますが、平成25年の干支である「巳」の如く、従来の旧態システムから脱皮し、新しい公益社団法人として良いスタートが切れるよう、会員の皆様方におかれましては、執行部の提案に対し、何卒趣旨をお酌み取りの上、ご理解とご協力を賜りますよう強くお願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。



年頭挨拶



「年頭挨拶」

(社)福岡県柔道整復師会
副会長・総務部長
塩川 哲也

平成25年の新春にあたり、会員の皆様は、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、12月16日に行われました、第46回衆議院議員選挙。3年4ヶ月ぶりに自民党が政権を奪還し、それまでぶれなく応援してきました我々は、やっと正規のレールに戻っていけることだと思っています。

次に、九州で初めて開催されました第21回日本柔道整復接骨医学会には多くの会員の先生方にご参加頂きありがとうございました。他の医療機関の関係者や学生達も多く参加され、過去最高の数とお聞きしました。主催県としましても安堵致した次第です。

また、公益社団法人への移行についてですが、平成25年11月の申請期限が迫る中、私共は公益社団法人への道を選択し、県当局との協議を続けてまいりました。

会員の皆様に平成24年度定時総会で承認を頂き、8月の申請から5ヶ月と当初の予定より若干遅れはしたもの、1月25日に開催された第42回福岡県公益認定等審議会において公益社団法人への移行認定の答申が出ました。

公益社団法人として今まで以上に社会的責任も重く、地域社会や行政や保険者といった関連団体から期待される事も多くなると考えております。そして当たり前の事ですが、当会役員の責任もこれまで以上に重くなる訳ですので、執行部一同今一度気を引き締めて会務運営にあたる所存でございます。公益社団法人の「公益」たるゆえんは、会員相互の利益のための団体ではなく、広く不特定多数の利益に資する団体であるという事でありますので、このことを念頭にし、これから諸規程等について総務部を中心に検討していくと考えております。

尚、当会が公益目的事業の中心に据えている3本柱は「柔道整復施術療養費の受領委任払い制度の推進に

関する事業」「柔道整復師の資質の向上並びに柔道整復学及び柔道整復術の普及発展に関する事業」「地域福祉活動に関する事業」となっております。何れも今までやってきた事業から大きく変わる訳ではございませんが、これまで以上に会員の皆様方のご理解とご協力をお願いする次第です。

そして、今年は7月27日(土)、28日(日)に日整九州学術福岡大会がニューオータニ博多で開催を予定しております。8年に一度の九州持ち回り大会でありますし、主催県として成功裡に終わりますように、先生方のご理解とご協力をお願い致したいと思います。

また、総務部の新しい取り組みとしましては、昨年4月より佐川急便によるレセプト集配システムの構築を行いました。これにより会員の負担軽減と共に事務局としても荷物の一括受け取りにより、レセプト開封仕分け業務の効率化が図られました。また、事務経費削減の為、皆様へ月末に送付している速報版の両面印刷も実施しておりますし、会員数増加に伴い、資料や印刷物の発行部数も増えてきているため、事務作業の効率化を更に追求し、最新の複合機を導入計画しております。

また、以前より申し上げております当会ホームページのリニューアルについてですが、自治体のホームページを手がけるなど実績ある制作会社が決定し、4月1日のリニューアルに向けて鋭意制作中でございます。今回のリニューアルに伴い、一般の方が当会所属会員の整骨院を全てアクセスマップつきで検索出来るようになっております。また、新しい企画等も計画しておりますので、今後ホームページに対する要望等について会員へご案内させて頂きますので、その際にはより良いホームページとなるようアイデアを出して頂きたいと思います。

最後に、昨年もお願いしましたが、保険部長・支部長及び事務局への問合せも非常に多くなってきております。これについては、業務の一極集中を避けるためにも出来るだけメールやファックスなどで問合せ頂きますようお願い致します。

会員の皆様方にとて素晴らしい年でありますよう祈念するとともに、本年もご指導ご鞭撻のほど、改めて宜しくお願い申し上げます。



「年頭挨拶」

(社)福岡県柔道整復師会
副会長・経理部長
小川 平八郎

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかに新年を迎えてられましたこととお慶び申し上げます。また、旧年中は会の行事等会務にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の国政を振り返りますと、内外共に厳しい一年でした。外交においては尖閣諸島の国有化に伴う日中間の関係悪化により、反日デモの激化や中国関連企業の業績不振に見舞われ、日本経済に悪影響を及ぼしております。また、竹島問題を抱える隣国韓国との関係悪化も気になるところです。

内政においては、国民に夢と希望を持たせ発足した民主党政権が、掲げた多くのマニフェストを実行できないまま、自民党に政権交代することとなりました。今のところ世論は政権交代に好意的な見方をしていますが、現在の日本が置かれている状況を考えると心配の種は尽きないことも事実だと思います。ただ、民主党政権では出来なかった安定した国家運営に期待するところでございます。

我々柔整業界におきましては、同業者の激増により、経営環境は大変厳しく、会員の取り扱い額も毎年減ってきております。加えて各保険者、特に、健康保険組合の委託業者によるレセプト審査点検や、必要以上に実施される患者照会によって、来院する患者数自体も次第に減って来ている状況であります。

私たち柔道整復師が、狭い業務範囲の中で生活を維持していくことが大変であることは皆様も良く理解されていると思います。しかしながら、どの業界も同じ事ではございますが、法律を遵守して眞面目に頑張っていくしかありません。

そのような中、福岡県内の自治体に於ける介護予防事業への参画が少しずつ広がりを見せております。業務範囲の拡大という意味合いで明るい光が見え

てきていると考えても良いかもしれません。

また、昨年は公益社団法人移行を目的として、会員の皆様へは経理部よりレセプトの一括集配や連盟会費徴収方法の変更等、ご協力をお願いすることが多かつた年でしたが、その結果、公益社団法人として新しい第一歩を踏み出すことが出来ました。また、整骨会館についても築18年が経過し、老朽化していた会館の門扉についても昨年、最新の頑丈な門扉に新調することが出来ましたので、防犯上安心できる会館になりました。

本年は先述した公益社団法人移行初年度でございますので、経理面において公益性の観点から大変厳しい目が向けられる事となります。厳しい経営環境の中、お預かりしております会費を大切に考え、役員一同力を合わせてしっかりと頑張りますので、会員の皆様におかれましても引き続きご協力ご理解の程を宜しくお願い申し上げます。



「年頭挨拶」

(社)福岡県柔道整復師会
副会長・保険部長
村田 栄治

新年あけましておめでとうございます。

2013年の年頭にあたり、副会長・保険部長よりご挨拶申し上げます。

昨年1年間を振り返りますと、12月16日の第46回衆議院議員総選挙におきまして、3年余続いた民主党政権に終止符が打たれたことが大きな出来事としてあげられます。私たちが長年支持してきました自民党が過半数を大幅に超え、福岡県においても11選挙区全て自民党候補者が議席を獲得するという結果となりました。これから自民党政権に期待しつつ、政治の安定を願うばかりでございます。

また、我々の業界に目を向けてみると皆さんもご承知の通り平成24年は療養費改定の年でありましたが、例年通りの6月での改定が遅れ、現在「厚生労働省社会保障審議会医療保険部会柔道整復療養費検討専門委員会」での検討がなされているところであります。本誌



年頭挨拶

が発刊される頃には大体の改定内容が決まっていると思われますが、良い結果となることを願っております。

そして、各地区保険研修会でも説明しましたが、4月より施術録を大幅に改定することとなりました。約20年ぶりの改定となりますので最初は戸惑うと思いますが、保険部便りでもお知らせしているように、最近保険者による患者照会が以前に比べ厳しくなってきています。そして、照会の結果、保険者が療養費支払いを適当で無いと判断し、不支給の決定とするケースも非常に増えてきています。

従って、不支給決定となる前に、患者照会やレセプト返戻があった時点で、我々は施術録を元に患者に再確認して、申請内容との整合性を元に回答し、再請求する必要があります。そのためにも、負傷原因の基本である「いつ、どこで、どうして、どうなったか」と言った事は勿論、施術の必要性(施術を行う必要が身体状態であったか)、合理性(施術内容が合理的であると言えるか)、有効性(施術の具体的効果が見られたか)、妥当性(施術費用や回数が社会通念上妥当であるか)等を患者と十分にコミュニケーションを図り、保険者の求めに対して自信をもって回答できるような施術録を作成していくことがこれまで以上に重要となってきます。きれい事と思われる方もいるかもしれませんのが、先述した基本事項を忠実に守ることはとても大切なことです。保険者側がこの請求であれば適正であると支給決定してくれる為にも、一人一人の会員が襟を正して、確かな情報を共有し、我々の現状を良く理解し、保険者及び患者の信頼と支持を得ることが出来ればと思います。

従って、行政や当会が主催する保険研修会には必ず出席して頂き、保険者がどういうことを求めているのか等、最新の情報を得てしっかりと理解して頂きたいと思います。

今年度も保険部としましては療養費渉外部と協力のもと、会員のニーズに応える充実した保険研修会や保険部発文書による情報の発信を継続して行きたいと思っています。

私も微力ながらも会員皆さんと一緒に勉強し、よりよい組織となるよう努力致しますので皆さんのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



「年頭挨拶」

(社)福岡県柔道整復師会
顧問
山村 修

皆様新年あけまして、おめでとうございます。会員の先生方におかれましては、良いお年を迎えたことと、お慶び申し上げます。

10年以上にわたるデフレにより、国内市場は縮小し、GDPも減少し続けています。

東日本大震災から2年が経過しようとしていますが、復興は遅々として進んでいません。もっと早く復興することを我々皆が願っています。

昨年は年末衆議院選挙で、今度は自由民主党が大勝致しました。これもひとえに皆様のお陰であります。我々の業界はどんな事があろうと、自由民主党を支援してきました。

今年は参議院選挙もあります。これに大勝して、はじめて業界の安定が来ると信じます。

今年は公益社団法人への移行と、二重の喜びとし、心から会員の先生方にとって良い年であります様、お祈り申し上げます。

「年頭挨拶」

(社)福岡県柔道整復師会
相談役
中野 光石

謹んで新春のお慶び申し上げます。

昨年は皆様にとってどのような年だったでしょうか？それぞれに喜怒哀楽の一年を省みながら新年の神様(年神様)をお迎えし、今年一年の無病息災をお祈りした事と思います。

「万物は生滅流転し永遠に変わらないものは一つもなく、まして人の世は変わりやすい」と言われています。例えば、災害、経済、景気などが正にそうです。誰もが想像できなかった東日本大震災という未曾有の国難

から2年近く経ち、未だに復興の足は鈍く、国内の景気も一部を除いては悪化の方あります。

国内外と色々な問題を抱える中、日本での喫緊の課題は円高とデフレ脱却、経済の再生でしょう。これらの問題の解決策の良い手が打てぬまま、民主党政権は昨年の衆議院選挙で国民の審判を受け大敗しました。安定感のある自民党が再び政権与党に復帰し、選挙公約である財政再建と景気浮揚を任せられることとなりました。

さて、目を転じて我々の業界は日本経済の高度成長と共に発展してまいりました。所謂1964年の東京オリンピックの頃からでしょう。爆発的とも思える経済成長から一転、その後バブルが弾け、不景気の時代に突入、我々の業界も少子高齢化や社会情勢の変化、生活の多様化と同時に同業者の激増と過当競争で皆大変です。

他方、世間では「借金時計」なるものも出てきて、国債残高928兆円、国民一人あたりの負担額は175万円、1秒間に117万円の借金が刻まれていくという気の遠くなる数字です。この様な大きな問題に我々一般庶民は先の展望など判るすべもありません。

ただはつきり言えることは色々な難しい問題、例えば外交、格差社会、原発、社会保障制度改革、ましては景気浮揚に消費税など全てが両刃の剣、双方が良いと言うことは無いのです。

ともあれ国の経済成長がなければ我々業界も発展は難しく、是非とも自民党安倍政権には頑張ってもらい、熟慮に慎重且つ大胆な政策で力強い日本を再生して頂きたいと思っています。

(社)福岡県柔道整復師会も今年は公益社団法人に移行する予定です。我々も脱皮し、成長することで、蒔いた種が実を結ぶようにしなければなりません。

皆様にとって本年もご多幸でありますよう祈念申し上げます。



「年頭挨拶」

(社)福岡県柔道整復師会
相談役
大久保 達朗

新年あけましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、約3年ぶりに政権が自民党に戻りました。国民皆が今年は何かが変わると感じています。それが巷で言わされているように平等社会から格差社会への転換か、デフレからインフレになるか、「コンクリートから人へ」から「人からコンクリートへ」に移るのか、前に進むのか後に戻るのか…現段階では良く判りません。

ただ、今年は已年ですので我々の業界も含め良い方向へ脱皮していくことを願うばかりです。

新春の門出にあたりまして、会員皆さまのご多幸とご健康を祈念申し上げまして、簡単ではございますが年頭のご挨拶といたします。



「年頭挨拶」

堀内恭彦 法律事務所
顧問弁護士
堀 内 恭 彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

社団法人福岡県柔道整復師会の皆様には平素から大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

昨年の政権交代にともない、景気が上向いてくれることを願うばかりですが、診療報酬の改定、高齢者保険・介護予防など、我が業界を取り巻く環境はいまだに不透明で揺れ動いており、我々も、迅速・的確な対応を迫られています。

会員の皆様が、国民医療に貢献し、益々ご活躍、ご発展されますよう、私も微力ながらお手伝いさせていただきます。

少しでも気になることやお困りごとがございましたら、

年頭挨拶

いつでも、お気軽に、当事務所までお問い合わせ下さい。

本年も皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます。



「新年のご挨拶」

新日本有限責任監査法人
顧問公認会計士
吉 村 祐 二

(社)福岡県柔道整復師会会員の皆様におかれましては、今年もますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年の明るい話題としましては、まず、ロンドンオリンピックでの日本勢の活躍が挙げられるのではないかでしょうか。女子レスリングの吉田・伊調選手のオリンピック3連覇をはじめ、内村選手の体操個人総合での金メダルは圧巻でした。加えて、女子サッカーなどでジャパンや卓球女子団体の銀メダル獲得、バレー女子の銅メダル獲得等、女子団体の活躍の多い大会であったという印象です。次のオリンピックでは柔道選手にも期待したいところです。

また、中山伸弥京都大教授(50)が、体のあらゆる細胞に変われる能力を持つ万能細胞「人工多能性幹細胞(iPS細胞)」を世界で初めて開発した功績を称え、ノーベル医学・生理学賞を受賞したことも明るい話題のひとつでありました。まだまだハードルの高い問題はあるものの、再生医療・難病治療の実現への可能性が垣間見えて来ているのではないでしょうか。

次に、昨年の一番の話題は何といつても年末に行われた衆議院議員選挙ではないでしょうか。民主党の現職閣僚8名が落選するという異例の事態で、自民大勝という結果になったことは言うまでもありません。この結果が明るいものか暗いものかは今後の安倍総理の政権運営次第ですが、前向きで活気のある日本経済・日本社会を実現して頂きたいと願うところであります。

一方、経済においては、原子力発電所の停止に伴う火力発電用燃料の輸入の高止まりに加え、中国との尖閣諸島問題、韓国との竹島問題という領土問題の再発

により、特に中国への輸出が大幅に減少し、昨年11月の貿易収支(輸出額から輸入額を差し引いた金額)は9,534億円の赤字(前年同月は6,912億円の赤字)と単月としては1979年以降で3番目の規模となりました。輸出に頼ってきた日本経済にとっては大きな影響を受けており、景気低迷に拍車をかけている状況です。今後の新政権の動向に注目が向けられることと思います。

このような状況の中で、貴法人はいよいよ公益社団法人への移行を迎えてます。この移行作業の過程においては主務官庁である福岡県とのやり取りの中で様々な問題にぶつかりながらも、ようやく公益社団法人としての方向性が見えつつあります。会員の皆様におかれましては、公益の名を冠する「新しい法人」の構成員として、公益目的事業に重点を置きながら各事業に取り組んで頂きたいと思います。

私どもも、新公益社団法人移行及び法人移行後の運営に際しては、微力ながらもご支援させていただきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様のご健康とご活躍を祈りまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成24年度 定時総会

平成24年5月27日(日) 於 福岡県整骨会館



議長
石坂修一

かと、ホッとしたところであります。

公益法人への移行となる前の重要な総会を議長就任して初の議事進行が成し遂げられた満足感と、益々、気を引き締めていかなければという思いであります。

今後は、公益法人となりますので、議長、副議長は総会での選出となります。高石副議長と共に協力して参る所存です。

これからもよろしくお願い致します。



挨拶する松岡会長



議事進行する石坂議長(左)と高石副議長(右)



総会風景

一、開会の辞	一、日整会歌合唱	一、議長挨拶	一、議事録署名人選出について	一、閉会の辞
平成二十四年度事業計画案並びに予算案承認の件について	平成二十三年度事業報告について	議事録署名人選出について	平成二十三年度収支決算報告承認の件	平成二十四年度事業計画案並びに予算案承認の件について
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
議事録署名人選出について	平成二十四年度事業計画案並びに予算案承認の件について	平成二十四年度事業計画案並びに予算案承認の件について	平成二十四年度事業計画案並びに予算案承認の件について	議事録署名人選出について
Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ
公益社団法人移行時の公認会員登録並びに監査報告について	新入会員紹介表彰	その他	公益社団法人移行認定申請に係る諸規程について	公益社団法人への移行について
Ⅺ	Ⅻ	Ⅼ	Ⅽ	Ⅾ
社団法人福岡県柔道整復師会の公認会員登録並びに監査報告について	新入会員紹介表彰	その他	公認会員登録並びに監査報告について	公認会員登録並びに監査報告について
Ⅿ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ
ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ



理事会報告

平成24年1月～12月



副会長・総務部長
塩川 哲也

社団理事会報告

平成23年度第7回理事会

平成24年2月28日(火) 19:00～

議題

- 柔道整復師卒後臨床研修養成施設の数的確保について
- 第20回福岡県整骨医学会について
- 学術部ノートPCの購入について
- レセプト提出方法について
- 公益社団法人への移行について
- 平成23年12月並びに平成24年1月度収支決算報告について
- その他

(報告事項)

- 各部会報告について
- 各審査会報告について
- 日整理事会報告について
- 平成23年度保険研修会・新入会員保険研修会報告について
- 会館のセキュリティシステムについて
- 九州ブロック会理事会報告について
- 九州ブロック会会长・保険部長会議報告について
- 九州ブロック会学術部会報告について
- 介護予防・機能訓練指導の参入について
- その他

平成23年度第8回理事会並びに 平成23年度収支決算・平成24年度予算委員会

平成24年3月27日(火) 19:00～

議題

- 職員給与の昇給について

- 第32回福岡県少年柔道大会並びに運営委員の増員について
- レセプト集配について
- 福岡県国保連合会柔道整復施術療養費審査委員の推薦について
- JIMTEFカンボジア国際セミナー参加補助について
- 学術部ノートPCの購入について
- 平成24年度年会費並びに定率会費の徴収時期について
- 公益社団法人への移行について
- 平成24年度収支決算報告について
- 平成24年度各部会事業計画案及び予算案について
- 平成24年度収支予算案について
- その他

平成23年度第9回理事会並びに 平成23年度収支決算・平成24年度予算委員会

平成24年5月10日(木) 19:00～

議題

- 平成24年3月度収支決算報告について
- 平成23年度収支決算並びに下期監査報告承認について
- 平成24年度予算案の承認について
- 分院会費について
- 柔道整復師卒後臨床研修について
- 日整機能訓練指導員認定柔道整復師基礎講座について
- 総会に付議する事項について
 - 議事録署名人について
 - 司会について
 - 会員長寿祝いについて
 - 総会資料について

⑤公益社団法人への移行について

8. その他

(報告事項)

- 各部会報告について
- 各審査会報告について
- 日整理事会報告について
- その他

2. 国保連合会との合同研修会について

3. 日整60周年記念式典における表彰について

4. 会員名簿について

5. 平成24年6月並びに7月度収支決算について

6. その他

(報告事項)

- 各部会報告について
- 各審査会報告について

3. 公益社団法人への移行について

4. 日整理事会報告について

5. 日整通常総会の報告について

6. 九州ブロック会理事会報告について

7. 九州学術大会大分大会並びに九プロ総会・柔道大会報告について

8. 九プロ保険部長会議報告について

9. その他

平成24年度第1回理事会

平成24年6月15日(金) 19:00～

議題

- 平成24年度職員上期賞与について
- 日整九州学術大会大分大会の参加補助について
- 職員研修旅行について
- 事務局盆休みについて
- 日整柔道指導者講習会について
- 全九州高校柔道大会の広告・協賛について
- 平成24年度第22回福岡県生涯学習研修会について
- 九州ブロック会柔道合同練習会並びに結団式について
- 会館裏門の門扉について
- 施術録の改訂について
- 平成24年4月並びに5月度収支決算について
- その他

(報告事項)

- 各部会報告について
- 各審査会報告について
- 日整理事会報告について
- 九州ブロック会理事会報告について
- 第32回福岡県少年柔道大会報告について
- 第28回福整会ゴルフコンペ報告について
- その他

平成24年度第3回理事会

平成24年10月15日(月) 19:00～

議題

- 平成24年8月並びに9月度収支決算について
- 平成24年度上期監査報告並びに承認について
- 日本柔道整復接骨医学会参加者の支弁について
- 平成24年度職員下期賞与について
- 平成24年度保険研修会について
- 施術録の改訂について
- 日整社団設立60周年記念式典における表彰について
- 平成24年度福岡県公衆衛生事業功労者県知事・理事長表彰について
- 平成24年度第22回福岡県生涯学習研修会について
- ジャンプアップフクセイについて
- その他

(報告事項)

- 各部会報告について
- 各審査会報告について
- 日整理事会報告について
- 日整全国保険担当者会議報告について
- 日整生涯学習講習会報告について

平成24年度第2回理事会

平成24年8月16日(木) 19:00～

議題

- 日整生涯学習講習会都道府県会議並びに日整全国柔道大会参加者の支弁について

会務執行状況報告

平成24年1月～12月

- 6. 第36回日整全国柔道大会並びに第21回日整全国少年柔道大会報告について
- 7. 九州ブロック会理事会報告について
- 8. 九州ブロック会広報部長会議報告について
- 9. その他

平成24年度第4回理事会

平成24年12月22日(土) 16:00～

議題

- 1. 平成24年度新入会員保険研修会について
- 2. 平成24年度各地区保険研修会について
- 3. 福岡健康管理センター健康診断並びに職員健康診断について
- 4. 公益財団法人全日本柔道連盟法人会員登録について
- 5. 平成24年度第22回福岡県生涯学習研修会について
- 6. 平成24年度第21回福岡県整骨医学会について
- 7. 事務局の年末・年始休暇について
- 8. 平成25年度支部事業並びに予算案について
- 9. 平成24年10月並びに11月度収支決算報告について
- 10. その他
(報告事項)
 - 1. 各部会報告について
 - 2. 各審査会報告について
 - 3. 日整理事会報告について
 - 4. 日本柔道整復接骨医学会学術大会報告について
 - 5. 平成24年度保険研修会報告について
 - 6. その他

赤十字奉仕団関係

平成24年度福岡県柔道整復師会 赤十字奉仕団委員会

平成24年6月15日(金) 22:30～

議題

- 1. 平成24年度事業報告並びに決算報告について
- 2. 平成24年度事業計画案並びに予算案について
- 3. 福岡県柔道整復師会赤十字奉仕団規程の一部改正について



副会長・総務部長
塩川 哲也

福 整 関 係

1月

- 4日(水) 御用始め
官公庁挨拶廻り
- 7日(土) 北九州西支部新年初顔合わせ会
- 10日(火) 経理会務
- 11日(水) 総務会務
学術会務
- 12日(木) (社)福岡県介護支援専門員協会理事会
- 13日(金) 学術部会
- 14日(土) 福岡東・西・南支部合同学会
北九州西・南・中央支部合同学会
- 16日(月) 保険会務
- 17日(火) 公的審査会・国老審査会・労災審査会
総務会務
保険会務
広報会務
- 18日(水) FB伝送日
経理部会
総務会務
- 19日(木) 療養費渉外会務
(社)福岡県介護支援専門員協会広報部会
- 20日(金) 損害保険協議会
総務会務
- 21日(土) 第8回筑豊支部生涯学習研修会
- 22日(日) 平成23年度保険研修会
広報会務
筑豊支部役員研修会・学術研修会
- 25日(水) 総務会務

2月

- 4日(土) 久留米南・北支部合同生涯学習講習会
松山政司ご尊父葬儀
- 5日(日) 末永泰行先生藍綬褒章受章祝賀会
- 6日(月) 平成23年度福岡県公衆衛生事業功労者表彰
- 10日(金) 学術部会
経理会務
保険会務
学術会務
- 12日(日) 総務会務
- 14日(火) 経理部会
総務会務
- 15日(水) 総務会務
- 16日(木) FB伝送日
公的審査会・国老審査会・労災審査会
総務会務
広報会務
- 17日(金) 学術会務
- 18日(土) 平成23年度新入会員保険研修会
総務会務
広報会務
第54回九州柔道選手権大会福岡県予選
大会救護
- 19日(日) 岡本和久先生旭日双光章受章祝賀会
- 25日(土) 北九州南支部定例会
- 27日(月) 総務会務
広報通信員会議
- 28日(火) 平成23年度第7回理事会
総務会務
保険会務

会務執行状況報告

会務執行状況報告

3月

1日(木)	(社)福岡県介護支援専門員協会理事会	16日(月)	経理会務
2日(金)	J A共済連との協議会		公的審査会・国老審査会・労災審査会
7日(水)	保険会務		総務会務
9日(金)	福岡医療専門学校卒業式	18日(水)	F B伝送日
	学術部会		損害保険協議会
11日(日)	第54回九州柔道選手権大会・第22回九州女子柔道選手権大会救護	20日(金)	経理部会
12日(月)	経理部会		総務会務
	少年柔道大会運営委員会	21日(土)	療養費涉外会務
	総務会務	27日(金)	筑豊支部定時総会
	経理会務		少年柔道大会運営委員会
	広報会務		
13日(火)	平成23年度(財)日本公衆衛生協会会长表彰式	8日(火)	総務会務
16日(金)	F B伝送日	10日(木)	平成23年度下期監査会
	公的審査会・国老審査会・労災審査会		平成23年度第9回理事会
	総務会務		総務会務
	学術会務	11日(金)	学術部会
17日(土)	第20回福岡県整骨医学会リハーサル		広報通信員会議
18日(日)	第20回福岡県整骨医学会		総務会務
19日(月)	江藤秀之ご尊父葬儀	12日(土)	経理会務
	経理会務		保険会務
20日(火)	故吉田雅弘会員お通夜	13日(日)	全日本柔道体重別選手権大会ドーピング委員会
	総務会務		全日本柔道体重別選手権大会ドーピング委員会
21日(水)	故吉田雅弘会員葬儀		第27回(社)佐賀県柔道整復師会中学生柔道錬成大会
25日(日)	第29回福岡県少年柔道大会救護	16日(水)	経理部会
27日(火)	平成23年度第8回理事会・決算・予算委員会		総務会務
	総務会務		公的審査会・国老審査会・労災審査会
	保険会務	17日(木)	F B伝送日
28日(水)	総務会務		公的審査会・国老審査会・労災審査会
	学術会務		経理会務
30日(金)	総務会務	18日(金)	保険会務
	保険会務	20日(日)	第36回九州ブロック会親善ゴルフ大会
		21日(月)	総務会務
4月		23日(水)	(社)福岡県介護支援専門員協会第1回理事会
2日(月)	総務会務	25日(金)	総務会務
3日(火)	保険会務	26日(土)	平成24年度定時総会リハーサル
5日(木)	総務会務		末松昭代・純子会員ご尊父葬儀
9日(月)	総務会務		福岡県高等学校柔道大会救護活動
11日(水)	総務会務		

5月

8日(火)	総務会務
10日(木)	平成23年度下期監査会
	平成23年度第9回理事会
	総務会務
11日(金)	学術部会
	広報通信員会議
	総務会務
	経理会務
12日(土)	全日本柔道体重別選手権大会ドーピング委員会
13日(日)	全日本柔道体重別選手権大会ドーピング委員会
	第27回(社)佐賀県柔道整復師会中学生柔道錬成大会
16日(水)	経理部会
	総務会務
17日(木)	F B伝送日
	公的審査会・国老審査会・労災審査会
	経理会務
	保険会務
18日(金)	総務会務
20日(日)	第36回九州ブロック会親善ゴルフ大会
21日(月)	総務会務
23日(水)	(社)福岡県介護支援専門員協会第1回理事会
25日(金)	総務会務
26日(土)	平成24年度定時総会リハーサル
	末松昭代・純子会員ご尊父葬儀
	福岡県高等学校柔道大会救護活動

4月

27日(日) 平成24年度定時総会

広報会務
29日(火) 学術会務

6月

2日(土) 第32回福岡県少年柔道大会準備会
第44回九州ジュニア柔道体重別選手権大会
福岡県予選大会救護活動

3日(日) 第32回福岡県少年柔道大会

8日(金) 経理部会
学術部会
総務会務

9日(土) (社)福岡県介護支援専門員協会第1回定期総会

10日(日) 第28回福整会ゴルフコンペ
第29回福岡県少年柔道選手権大会救護活動

11日(月) 経理会務
13日(水) 保険会務

14日(木) 総務会務
保険会務
15日(金) 平成24年度第1回理事会

16日(土) 公的審査会・国老審査会・労災審査会
保険会務

17日(日) 全九州高等学校柔道大会救護活動
東北柔専O B会本部全国総会福岡大会

18日(月) F B伝送日
22日(金) 総務会務

27日(水) 経理会務
保険会務
29日(金) 総務会務

7月

1日(日) 第44回九州ジュニア柔道体重別選手権大会救護活動

2日(月) 総務会務
5日(木) 総務会務

6日(金) 経理部会
総務会務

保険会務

7日(土) 福岡南支部定例会
8日(日) 第35回九州ブロック会柔道大会合同練習会・結団式

筑豊三四郎会

11日(水) 経理会務
13日(金) 学術部会
損害保険協議会

総務会務

14日(土) 九州ブロック会理事会
第41回九州ブロック会総会

15日(日) 第35回九州ブロック会柔道大会
第41回日整九州学術大会大分大会開会式・前夜祭

16日(月) 第41回日整九州学術大会大分大会
18日(水) 公的審査会・国老審査会・労災審査会

総務会務

19日(木) 広報会務
F B伝送日

20日(金) 総務会務

27日(金) 総務会務

28日(土) 福岡西支部定例会

29日(日) 第64回福岡県中学校柔道大会救護活動
30日(月) 第64回福岡県中学校柔道大会救護活動

保険会務

31日(火) 総務会務
学術会務

8月

1日(水) 総務会務
2日(木) (公社)青森県柔道整復師会との勉強会

4日(土) 総務会務

機能訓練指導員認定柔道整復師基礎講座

5日(日) 木山時雨先生旭日双光章受章祝賀会

機能訓練指導員認定柔道整復師基礎講座

6日(月) 総務会務

7日(火) 経理部会

総務会務

経理会務

10日(金) 学術部会

瀧井裕治会員ご尊父葬儀

会務執行状況報告

会務執行状況報告

12日(日) 総務会務
 16日(木) 平成24年度第2回理事会
 公的審査会・国老審査会・労災審査会
 総務会務
 保険会務
 広報会務
 17日(金) F B伝送日
 広報編集会議
 総務会務
 保険会務
 21日(火) 総務会務
 24日(金) 国保連合会協議会
 25日(土) 故阪本武司先生を「偲ぶ会」
 北九州中央支部定例会
 26日(日) 日整柔道指導者講習会
 第7回北九州西地区少年柔道大会救護活動
 29日(水) 保険会務
 学術会務
 31日(金) 協会けんぽ協議会

27日(木) 総務会務
 29日(土) 柔道整復師卒後臨床研修医療人研修講座
 30日(日) 柔道整復師卒後臨床研修医療人研修講座

10月

1日(月) 総務会務
 4日(木) 総務会務
 5日(金) 経理部会
 総務会務
 保険会務
 8日(月) 第36回日整全国柔道大会
 第2回日整全国少年柔道形競技会
 第21回日整全国少年柔道大会
 9日(火) 総務会務
 10日(水) 総務会務
 経理会務
 12日(金) 学術部会
 13日(土) 総務会務
 15日(月) 平成24年度上期監査会
 平成24年度第3回理事会
 総務会務
 保険会務
 学術会務

9月

1日(土) 筑豊支部定例会
 3日(月) 総務会務
 6日(木) 日本武道学会
 10日(月) 経理会務
 田中順二・公造会員ご尊父お通夜
 城達会員ご母堂お通夜
 12日(水) 経理部会
 総務会務
 13日(木) 総務会務
 14日(金) 学術部会
 16日(日) 第39回日整親善ゴルフ千葉大会前夜祭
 17日(月) 第39回日整親善ゴルフ千葉大会
 18日(火) 公的審査会・国老審査会・労災審査会
 総務会務
 19日(水) F B伝送日
 総務会務
 学術会務
 23日(日) 第55回福岡県民体育大会秋季大会救護活動
 26日(水) 総務会務
 療養費渉外会務

9日(金) 経理部会
 学術部会
 総務会務
 12日(月) 経理会務
 14日(水) 保険会務
 16日(金) 公的審査会・国老審査会・労災審査会
 広報会務
 17日(土) 平成24年度九州厚生局主催集団指導(新入
 会員)
 19日(月) F B伝送日
 20日(火) 総務会務
 学術会務
 21日(水) 総務会務
 23日(金) 総務会務
 24日(土) 第21回日本柔道整復接骨医学会学術大会
 25日(日) 第21回日本柔道整復接骨医学会学術大会
 総務会務
 第29回福岡県女子柔道選手権大会救護活動
 26日(月) 総務会務
 27日(火) 総務会務
 30日(金) 総務会務

12月

1日(土) 総務会務
 第10回北九州市長旗争奪西日本少年柔道
 大会救護活動
 北九州西・南・中央支部合同冬季懇親会
 2日(日) 第10回北九州市長旗争奪西日本少年柔道
 大会救護活動
 6日(木) 経理会務
 7日(金) 総務会務
 経理会務
 国民の医療を守るための福岡総決起大会
 9日(日) 国保連合会合同研修会
 11日(火) 保険会務
 13日(木) 公的審査会・国老審査会・労災審査会
 広報編集会議
 保険会務
 14日(金) 学術部会
 16日(日) 第57回延塚奉行顕彰武道大会救護活動
 17日(月) F B伝送日

11月

1日(木) 総務会務

保険部だより



副会長・保険部長
村田栄治

◎全国健康保険協会(協会けんぽ)による患者調査について
平成24年3月12日付保医発0312第1号に基づき、柔道整復師の施術の療養費の適正化に向けて以下の調査が実施されています。つきましては、施術録の整備を心がけて頂くと共に、適正な請求は勿論のこと、絶対に不正請求や水増し請求等を行わないように強くお願いします。

- ①多部位(3部位以上の請求)
- ②長期(3ヶ月を超える請求)
- ③頻回(一月あたり10~15日以上の請求)
※特に、これらの①②③全てに該当する請求については調査対象となる可能性が高いです。
- ④全ての施術部位が施術3ヶ月目に中止、翌月に新たな負傷部位が発生している請求
- ⑤被保険者並びに被扶養者の全員(一家族全員)が継続して受診している請求
- ⑥自家診療の疑いがある請求

◎返戻レセプトを再請求する場合の振込先について
月の途中で保険証が変わった等の理由により返戻されたレセプトを再請求する際は、新しく変わった健康保険の振込先が会長委任口座か個人口座かを必ず確認し、訂正が必要な場合は正しい口座に訂正の上、再請求を行うようにして下さい。

振込口座を訂正せずに請求されているレセプトが多く見受けられ、再度の返戻や誤入金の原因となり事務局業務に支障をきたしておりますので宜しくお願い致します。

振込先が会長委任口座の健康保険
国保・退職者・後期高齢者(県内)、共済、乳幼児、障害者、ひとり親、原爆・自衛官

振込先が個人口座の健康保険

国保・退職者・後期高齢者(県外)、健保組合、協会けんぽ

◎レセプトの返戻依頼について

レセプト提出後に「労災に切り替わった」「交通事故に切り替わった」等の理由による返戻依頼が増えています。問診時に負傷原因をよく確認頂いた上で請求頂きますようご注意下さい。

◎健保組合の返戻について

最近、患者への調査書の回答が健保組合に届かなかつた理由で、一方的に返戻や不支給となっているケースが発生しています。

このような返戻を防ぐために、

- ①患者へ届く調査書については整骨院へ必ず届けさせる。
- ②調査書の記載内容に誤りが無いかよく確認する。
- ③健保組合へ調査書の提出を徹底させる。

以上の対策を立てて頂きますようご案内致します。

また、患者調査の結果によって返戻となったケースについては、

- ①問診(負傷原因確認)を徹底すること。
- ②他の医療機関へ受診しているかどうかの確認を徹底すること。
- ③請求部位については患者の同意を得ること。

また、返戻レセプトについても、

- ①返戻となった疑義項目に対する回答文
- ②請求の根拠となる問診票、施術録の写し

を添付して、必ず再請求して頂きますようお願い致します。

◎負傷原因について

負傷原因の記載で「業務上による負傷」が疑われる負傷原因を記載しますと、労災該当として返戻の対象となりますのでご注意下さい。

◎近接部位について

県事務局への問合せが多い為、別表にまとめております。問合せをする前にご確認頂きますようお願い致します。

保険部だより

捻挫・打撲・挫傷 算定可能・不可部位(2部位)

負傷部位(負傷例右側)	近接部位の負傷例	
右顎関節捻挫	可	左顔面部打撲、左顎関節捻挫、頸部捻挫
	否	右顔面部打撲
頸部捻挫	可	右肩関節捻挫、右肩部打撲(外側) 背部挫傷・打撲(下部)、上腕部挫傷・打撲
	否	肩峰より内側の肩部打撲
右肩関節捻挫	可	右背部挫傷・打撲(下部)、右上腕部挫傷・打撲 左背部挫傷・打撲、右胸部挫傷・打撲
	否	右上腕上部又は幹部の打撲
右肩部打撲	可	左肩関節捻挫、左胸部打撲・挫傷
	否	頸部捻挫、左肩部打撲、背部打撲・挫傷、右胸部打撲・挫傷
右肩部打撲(外)	可	頸部捻挫、左肩関節捻挫、左胸部打撲・挫傷 背部挫傷(下部)
	否	右上腕部打撲・挫傷(上部)
右上腕部打撲・挫傷(上部)	可	右肘部打撲、右肘関節捻挫
	否	右肩関節捻挫
右肘部打撲、右肘関節捻挫	可	右前腕部挫傷・打撲(下部)
	否	右上腕下部又は幹部の打撲・挫傷
右前腕部挫傷・打撲(上部)	可	右手関節捻挫、右手根部打撲、右中手部打撲
	否	右肘関節捻挫、右肘部打撲
右手関節捻挫	可	右第○中手指関節捻挫、右第○指関節捻挫・打撲
	否	右前腕下部又は幹部の打撲・挫傷 右手根部打撲、右中手部打撲
右手根部打撲	可	右前腕部打撲・挫傷(上)
	否	右手関節捻挫、右第○中手指関節捻挫、右第○指関節捻挫・打撲
右中手指関節捻挫 右第○指関節捻挫・打撲	可	右手関節捻挫
	否	右手根部打撲、右中手部打撲
右背部挫傷・打撲	可	左肩関節捻挫、左胸部挫傷・打撲
	否	右胸部挫傷・打撲、左背部挫傷・打撲
右背部挫傷・打撲(上部)	可	左肩関節捻挫、腰部捻挫・打撲、左胸部挫傷・打撲
	否	頸部捻挫・打撲、右肩関節捻挫、右胸部挫傷・打撲、左背部挫傷・打撲(上・下)
背部挫傷・打撲(上部)	可	腰部捻挫・打撲
	否	頸部捻挫

捻挫・打撲・挫傷 算定可能・不可部位(2部位)		
負傷部位(負傷例右側)	近接部位の負傷例	
背部挫傷・打撲(下部)	可	肩関節捻挫、頸部捻挫
	否	腰部捻挫・打撲
右胸部挫傷・打撲	可	左背部挫傷・打撲、右肩関節捻挫
	否	右背部挫傷・打撲、左胸部挫傷・打撲
腰部捻挫	可	背部挫傷・打撲(上部)、右股関節捻挫、右大腿部挫傷・打撲、殿部挫傷・打撲(下部)
	否	殿部挫傷・打撲(上部)、背部挫傷・打撲(下部)
腰部打撲	可	背部挫傷・打撲(上部)、右股関節捻挫、右大腿部挫傷・打撲
	否	殿部挫傷・打撲(下部を含む)、背部挫傷・打撲(下部)
右股関節捻挫	可	背部挫傷・打撲、右大腿部挫傷・打撲(下部)、左股関節捻挫、左殿部挫傷・打撲
	否	右大腿上部又は幹部の挫傷・打撲、右殿部挫傷・打撲
右殿部挫傷・打撲	可	背部挫傷・打撲、右大腿部挫傷・打撲(下部)
	否	腰部打撲、左殿部挫傷・打撲
右大腿部挫傷・打撲(上部)	可	腰部捻挫、右膝関節捻挫、右膝部打撲
	否	右股関節捻挫、右殿部挫傷・打撲(上部・下部)
右膝関節捻挫、右膝部打撲	可	右大腿部挫傷・打撲(上部)、右下腿部挫傷・打撲(下部)
	否	右大腿下部又は幹部の挫傷・打撲、右下腿上部又は幹部の挫傷・打撲
右下腿部挫傷・打撲(上部)	可	右大腿部挫傷・打撲、右足関節捻挫、右足根部打撲
	否	右膝関節捻挫、右膝部打撲
右下腿部挫傷・打撲(下部)	可	右膝関節捻挫、右中足部打撲
	否	右足関節捻挫、右足根部打撲
右足関節捻挫	可	右下腿部挫傷・打撲(上部)、右第○中足趾関節捻挫、右第○趾関節捻挫、右○趾部打撲
	否	右大腿下部又は幹部の挫傷・打撲、右足根部打撲、右中足部打撲
右足根部打撲	可	右下腿部挫傷・打撲(上部)
	否	右足関節捻挫、右第○中足趾関節捻挫、右第○趾関節捻挫、右○趾部打撲
右第○中足趾関節捻挫	可	右足関節捻挫
趾関節捻挫、趾部打撲	否	右足根部打撲、右中足部打撲

骨折・不全骨折 算定可能・不可部位(2部位)		
負傷部位(負傷例右側)	近接部位の負傷例	
右鎖骨骨折	可	頸部捻挫、右上腕部打撲・挫傷、右胸部打撲・挫傷、右背部打撲・挫傷
	否	右肩部打撲、右肩関節捻挫
右第○肋骨骨折	可	左第○肋骨骨折、左胸部打撲・挫傷、左背部打撲・挫傷
	否	同側の1～12肋骨骨折、右胸部打撲・挫傷、右背部打撲・挫傷
右上腕骨骨折(上部)	可	頸部捻挫、右肘関節捻挫、右肘部打撲
	否	右肩部打撲、右肩関節捻挫
右上腕骨骨折(下部)	可	右肩関節捻挫、右肩部打撲、右前腕部打撲・挫傷
	否	右肘部打撲、右肘関節捻挫
右前腕骨骨折(上部)	可	右上腕部打撲・挫傷、右手関節捻挫、右手根部打撲、右中手部打撲
	否	右肘部打撲、右肘関節捻挫
右前腕骨骨折(下部)	可	右肘関節捻挫、右肘部打撲、右第○指関節捻挫、右第○指部打撲
	否	右手関節捻挫、右手根部打撲、右中手部打撲
右手根骨骨折	可	右中手骨骨折、右前腕部打撲・挫傷、右第○指関節捻挫、右第○指部打撲
	否	右手関節捻挫、右中手部打撲、右中手指関節捻挫
右中手骨骨折	可	右指骨骨折、右前腕部打撲・挫傷
	否	右中手骨1～5個々の骨折、右手関節捻挫、右手根部打撲、右中手指関節捻挫、右指部打撲、右指関節捻挫
右第○指骨骨折	可	右第△指骨骨折(1指単位の算定)、右手関節捻挫
	〈注〉	指骨不全骨折は1手単位算定
	否	右手根部打撲、右中手部打撲、右中手指関節捻挫、右指部打撲、右指関節捻挫、指骨不全骨折
右大腿骨骨折(上部)	可	右膝関節捻挫、右膝部打撲、腰部捻挫・打撲
	否	右殿部打撲・挫傷、右股関節捻挫
右大腿骨骨折(下部)	可	腰部打撲、右殿部打撲・挫傷、右股関節捻挫、右下腿部打撲・挫傷
	否	右膝関節捻挫、右膝部打撲
右下腿骨骨折(上部)	可	右大腿部打撲・挫傷、右足関節捻挫、右足根部打撲
	否	右膝関節捻挫、右膝部打撲

保険部だより

保険部だより

骨折・不全骨折 算定可能・不可部位(2部位)		
負傷部位(負傷例右側)	近接部位の負傷例	
右下腿骨骨折(下部)	可	右膝関節捻挫、右膝部打撲、右中足部打撲
	否	右足関節捻挫、右足根部打撲
右足根骨骨折	可	右中足骨骨折、右下腿部打撲・挫傷、右第○趾関節捻挫、右第○趾部打撲
	否	右足関節捻挫、右中足部打撲、右中趾関節捻挫
右中足骨骨折	可	右趾骨骨折、右下腿部打撲・挫傷
	否	右中足骨1～5個々の骨折、右足関節捻挫、右足根部打撲、右中足趾関節捻挫、右趾関節捻挫、右趾部打撲
右第○趾骨骨折	可	右第△趾骨骨折(1趾単位の算定可)、右足関節捻挫
	〈注〉	趾骨不全骨折は1足単位算定
	否	右足根部打撲、右中足部打撲、右中足趾関節捻挫、右趾部打撲、右趾関節捻挫、趾骨不全骨折

《注》指、趾の骨折、脱臼は1指(趾)単位不全骨折は一手一足を単位とする。

3部位算定

※頸部、腰部又は肩関節のうち、いずれか2部位の捻挫と同時に生じた背部打撲(肩部を含む)又は、挫傷に対する施術料は捻挫に対する所定料金のみにより算定すること。(負傷日が同時の場合は2部位算定となる)

※左右の肩関節捻挫と同時に生じた頸部捻挫又は背部打撲に対する施術料は、左右の肩関節捻挫に対する所定料金のみにより算定すること。

※頸関節の捻挫は、捻挫の部の料金をもって左右各1部位として算定して差し支えないが、同時に生じた同側の顔面部打撲に対する施術料は、捻挫に対する所定料金のみにより算定すること。

平成24年度 レセプト提出日一覧表

月	レセプト提出〆切日	佐川急便集荷連絡〆切日	月	レセプト提出〆切日	佐川急便集荷連絡〆切日
4月分	6日(土)	5日(金)	10月分	7日(月)	6日(日)
5月分	7日(火)	6日(月)	11月分	6日(水)	5日(火)
6月分	6日(木)	5日(水)	12月分	6日(金)	5日(木)
7月分	6日(土)	5日(金)	1月分	6日(月)	5日(日)
8月分	6日(火)	5日(月)	2月分	6日(木)	5日(水)
9月分	6日(金)	5日(木)	3月分	6日(木)	5日(水)

必ず毎月1日～レセプト提出〆切日の前日17時までに(前日が日・祝の場合は異なる事があります)
集荷連絡を入れて佐川急便ドライバーに荷物(レセプト)を渡して下さい。

※上記〆切日に提出が間に合わない場合は必ず県事務局へ連絡して下さい。(〆切厳守のこと)

佐川送付状について

- ①送付状は4枚複写になっていますのでボールペンで強く記載して下さい。(ゴム印不可)
- ②荷物が届かない等で追跡調査をする場合、お問い合わせNoが必要になりますので、控えは荷物が届くまで大切に保管しておいて下さい。
- ③送付状の「ご依頼主」欄に整骨院住所、施術所名、氏名、電話番号を記入して下さい。
また、「品名」欄の余白部分に必ず会員番号を記入して下さい。
- ④「貴重品扱いシール」を必ず荷物に貼って提出して下さい。

〈送付状見本〉



4枚複写ですので、手書き(ボールペン)で強く記載して下さい。
(ゴム印は不可です)



会員番号〇〇〇〇
4桁の会員番号を
記入して下さい

整骨院住所、施術所名、
氏名、電話番号を
記入して下さい

表彰者紹介

日本公衆衛生協会協会長表彰

福岡東支部
梅原 隆三

この度は会員の皆様のお力添えにより日本公衆衛生協会協会長表彰を頂くことができ、誠に有難う御座いました。

顧みれば29歳で結婚し30歳で開業、今年で34年、3人の子供に恵まれ、2人が結婚し孫も1人出来やつと少し肩の荷を下ろし、これから的人生夫婦2人なんとか暮らしていくればいいなと、少し消極的になっていました。

開業当初はとても燃えていました。いつかは日整学会で発表しようと思い、症例を集め腱板断裂の治験例で発表した時は達成感がありました。

又、福岡支部の会計、県の広報委員や理事等の役をさせて頂いたことが現在福岡市空手道連盟事務局長として、とても良い経験になっています。

趣味の空手道は33歳まで現役で大会に出場、その後は子供たちの指導や、大会審判員として九州大会や全国大会にも参加しました。

今振り返ってみると、あの頃は仕事も趣味も何かにつけ一所懸命やっていたなあと思います。

この表彰を機にまだまだ衰える年齢でもないと気を持ち直したしだいです。

福岡県公衆衛生事業功労者県知事表彰

福岡東支部
吉田 洋三

平成25年1月30日(水)、福岡市東区のナースプラザ福岡に於いて第60回福岡県公衆衛生大会が開催され、この度公衆衛生事業功労者県知事表彰を受賞致しましたこと、光栄に思います。

今回の受賞にあたりましては、偏に松岡会長はじめ各役員の先生方並びに、社団の会員の先生方のご支援の賜と深く感謝御礼申し上げます。

早いもので、私も柔道整復師になって42年になりますが、未だ道半ばの心境であります。

これからも「精力善用」「自他共栄」の心で地域医療向上の為、誠心誠意貢献して参る所存でありますので、今後とも会員の皆様方のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



公衆衛生大会風景

福岡県公衆衛生事業功労者県知事表彰

福岡西支部
重松 哲夫

平成25年1月30日(水)、ナースプラザ福岡に於いて「食と健康フォーラム2013」が開催され、福岡県公衆衛生事業功労者県知事表彰を賜り身に余る光榮です。松岡会長をはじめ役員の方々、会員の皆様に心から厚く御礼申し上げます。

柔道整復師の業務を28年間、地域医療にボランティア、特に救護活動20年。又、5年前から会の理事者として微力ながら貢献できたことが受賞につながったものと思います。

平成25年度4月1日より公益社団法人として新たにスタートをしますが、今後とも業界発展の為、努力していく所存でございます。

より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰

久留米南支部
勢木 博之

平成25年1月30日(水)に、福岡市東区のナースプラザで開催されました「食と健康推進フォーラム」第60回福岡県公衆衛生大会に於いて、この度、社団法人福岡県柔道整復師会のご推挙により、福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰の栄に浴させていただきました。

身に余る光榮を思うと共に、ご厚情に対し心よりお礼申し上げます。

振り返りますと、大川市で開業し30有余年となり、ここまで続けて来ることができましたのも、社団法人福岡県柔道整復師会並びに諸先輩先生方のご指導のお陰であり、感謝の気持ちで一杯です。

まだまだ至らないところも多い私ですが、そのご恩に報いますよう、これからも努力、精進して参る所存です。

これからも、ご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

表彰者紹介

福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰



福岡南支部
中島 保幸

この度、平成25年1月30日(水)ナースプラザ福岡において第60回福岡県公衆衛生大会が開催され、福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰を受賞する事ができました。

今回このような名誉ある賞を頂けたのは社団法人福岡県柔道整復師会の松岡会長をはじめ役員並びに会員の皆様方のご厚情の賜物と心より感謝しております。誠に有り難うございました。

私は開業して25年地域医療並びに地域活動ボランティアに微力ではありますが協力してまいりました。現在は春日市の体育振興事業で青少年育成の為、春日柔道育成会で柔道指導をさせて頂いてます。今後も受賞を契機に柔道整復師としてより一層研鑽し、地域の医療・事業活動に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

最後に今後とも皆様のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



会場において副会長と表彰を受けた先生方

福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰



筑豊支部
吉村 喜彦

平成25年1月30日(水)ナースプラザ福岡において開催された「第60回福岡県公衆衛生大会・平成24年度福岡県食生活改善大会」におきまして、福岡県公衆衛生事業功労者理事長表彰の受賞の栄誉を賜りました。

このことは、私一人の栄誉ではなく役員の先生方をはじめとして先輩会員の先生方、諸先生方のご指導・ご厚情によりまして、社団法人福岡県柔道整復師会の一員として、これまで大過なくすごさせて頂いたことによるものであると感謝しております。

先達のお力添えにより、直方市で開業させて頂きまして今年の2月7日で29年目になります。これを契機に入会した当時の初心に戻りまして、謙虚に一生懸命に柔道整復業務に精励していく所存でございます。また、微力ながら会務に精一杯努力させていただきまして会員の先生方のお役に立てるよう邁進してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

第21回

日本柔道整復接骨医学会学術大会

平成24年11月24日(土)・25日(日) 於 福岡国際会議場



『学術大会に参加して』
学術部長
吉村 喜彦

表記学術大会が平成24年11月24日(土)と25日(日)の両日に渡って福岡県の福岡国際会議場において開催されました。「国民の健康維持・増進を担う柔道整復」という大会テーマに沿って大会会長講演の他に3本の特別講演および複数の基調講演ならびにシンポジウムが行われました。元会長の信原克哉先生のご講演をはじめとして、普段ではめったに聴講できない貴重な講演が二日間で多数行われました。その他にも例年どおり分科会シンポジウム・セミナー・一般発表・ポスター発表が8つの会場において同時進行で開催されました。



特別講演でのシンポジウム風景

九州学会1位通過の筑豊支部の原口正秀会員は一日目午前の発表でしたが整復手技療法の論文ばかりを集めた発表会場であったため、第一席の論文発表から会場は満席で立錐の余地もないほどの立ち見状態でした。福岡南支部の角家豊会員は一日目午後からの発表で、肩関節脱臼ばかりを集めた論文発表の最初に登場し、堂々の発表を行いました。反応も上々で活発な質疑が行われました。地元での開催で多数の会員の先生と、養成学校の学生でどの会場も盛況の様子でした。会員の先生方におかれましてはご協力いただきまして誠に有難うございました。



『「股関節牽引手技法」の発表を終えて』
筑豊支部
原口 正秀

私の論文発表において、多くの時間と労力を使ってご指導いただきました筑豊支部学術部長石本先生をはじめ、学術部員の先生方、本当にありがとうございました。

通常の治療技術を、論文にする大変さと同時に、何気なく行っている治療技術を分かりやすく多くの方に知って頂くことの難しさを知ることができました。

今後は、今回発表した内容をより深く研究し、さらに患者様に喜んで頂ける治療法として進化させていきたいと考えています。

また、他の先生方のすばらしい論文を聞く機会をいただいたことで、私の知らない施術の方法や考え方など、多くのことを学ぶことが出来て感謝

日本柔道整復接骨医学会学術大会

しています。

ここでの学びを、患者様にそして日頃の施術に役立ててもっと喜んでいただける整骨院、そして地域で信頼される整骨院となるように日々研鑽していく覚悟です。



『「肩関節脱臼整復法の比較検討」の発表を終えて』

福岡南支部

角 家 豊

はじめに今回学術発表の機会を与えて頂きありがとうございました。



発表者を囲んで

中村先生・吉村先生をはじめたくさんの方々のご協力のおかげで、このような結果を残す事ができたと思います。本当に感謝しております。

今回論文を作成し、様々な発見がありました。技術や知識を分かりやすく人に伝える難しさ、自分が行っている施術の再確認、知識の足りなさ等。

論文を作成したおかげで、色々な先生と症例についてお話を出来た事も私自身の財産になりました。今後の患者様の施術や後輩育成の際にもきっと力になる経験だったと確信しております。

今後は、患者様や柔道整復師業界の発展の為にさらに自分を磨き、少しでも私に関わって下さる方々の力になればと思っております。

第36回

日整全国柔道大会

平成24年10月8日(月・祝) 於 講道館大道場



『結果不本意、内容満足』

北九州西支部

石 坂 修 一

今回、50代の部で数年振りに全国大会に出場し、通算11回目の出場になりました。

50代代表は、初めてであり、九州チームの大将ということで、緊張と責任の重さを痛感しました。試合結果は1回戦で中関東チームと対戦し、0対2で負けはしましたが、チーム全員、全力を出し切っての敗戦でしたので、結果は不本意でしたが、内容は満足しています。

私自身、この年齢になっても試合前サブ道場での体をアップしている際の緊張感。この時は年齢も忘れてしまいます。非常に心地よいものです。少しづつ体が悲鳴をあげだしていますので、後どれだけ出来るかはわかりませんが、頑張っていきたいと思います。

最後に、北部の先生方の参加が激減しております。

今年は九州ブロック大会が、福岡県で開催されますので、1人でも多くの参加をお願いします。



『応援に感謝』

福岡西支部

富 永 忠 雅

昨年、一昨年に引き続き日整全国大会に出場しました。今年も多くの先生方に応援していただき感謝しています。

今回も前日の激励会で良いお酒を飲ませて頂いたことも手伝ってリラックスして大会に臨むことができました。また大会前日に出場予定だった40歳代表の檜山先生から激励のメールを頂き、闘志を燃やし試合に臨みましたが、結果は一回戦で中関東代表チームに惜敗してしまいました。



九州ブロック代表チーム



試合開始風景

日整全国柔道大会

毎年、九州ブロック大会・全国大会で柔道仲間に会える喜びが忘れられなくて出場していますが、今回の対戦相手は全国柔道整復専門学校柔道大会で試合をした相手と15年振りに対戦することができ、大変嬉しかったです。

また来年もぜひ九州ブロック大会・全国大会と出場できるように励んでいきたいと思います。



『出場に感謝』

久留米北支部

半田 竜也

前年に引き続き、先鋒として出場する機会をいた

だきました。

日整全国柔道大会は、東京の養成学校を卒業した自分にとっては、懐かしい顔に会える貴重な機会で、特に今回は学生時代にお世話になった先生も出場されており、非常にいい刺激を受けました。

また、戦績に関しましては、先鋒で出場させていただきましたが今一歩及ばずにポイントを先行されてしまい、結果的に2-0で1回戦敗退となってしまいました。

今後、また出場できるように精進していきたいと思います。

県柔整師会執行部役員の先生方、事務局の方々には、このような機会を与えていただいたことに感謝するとともに厚く御礼申し上げます。

厚生労働大臣旗争奪 第36回日整全国柔道大会

優勝／北信越西部ブロック

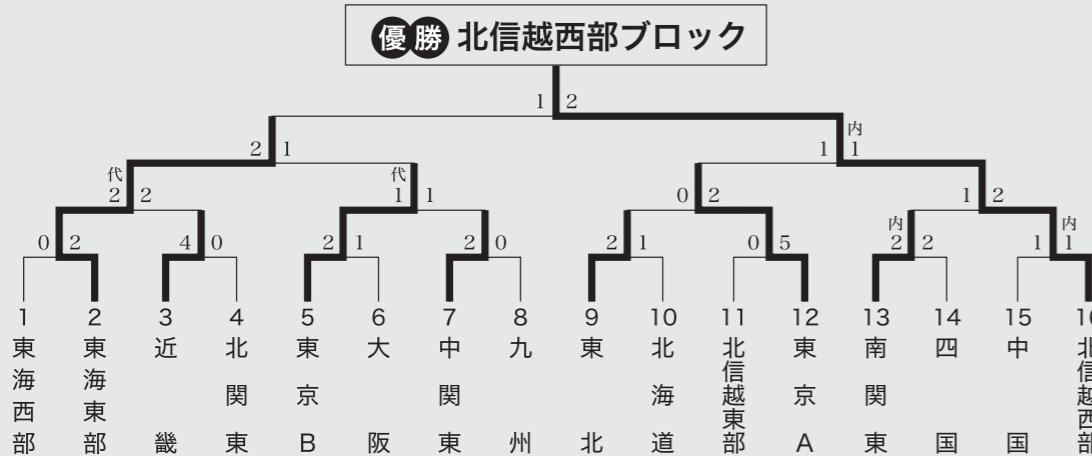
準優勝／東海東部ブロック

3位／東京Aブロック

3位／東京Bブロック

優秀選手賞／小倉 弘行(北信越西部)・田中 寿人(北信越西部)・吉田 卓実(東海東部)

下地 秀和(東京A)・牧瀬 洋人(東京B)



日整全国少年柔道大会

文部科学大臣杯争奪

第21回日整全国少年柔道大会

優 勝／茨 城 県

準優勝／神 奈 川 県

3 位／京 都 府

3 位／大 阪 府

敢 観 賞／青森県・奈良県・秋田県・三重県

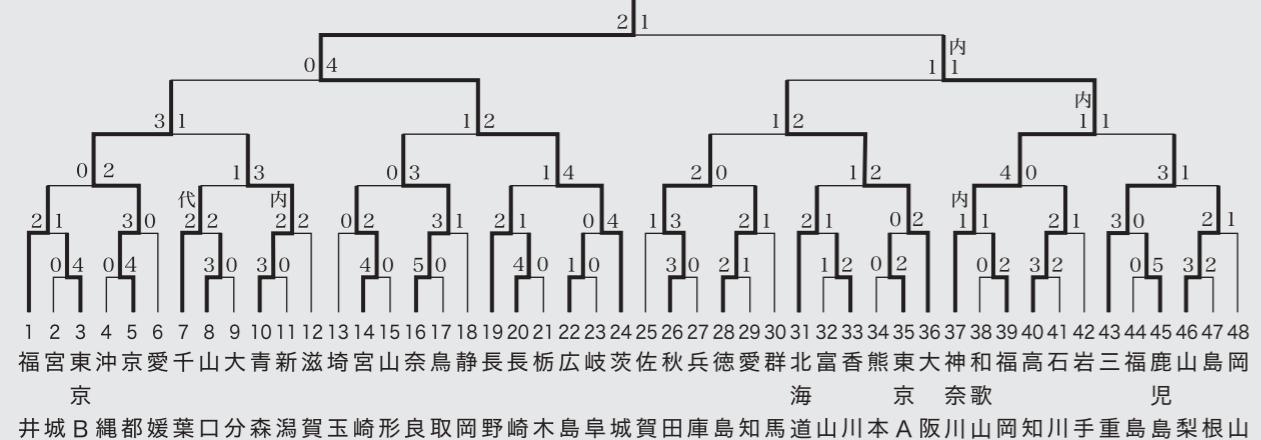
フェアプレー賞／千葉県・長崎県・香川県・高知県

優秀選手賞／酒井 陸(茨城県)・村尾 三四郎(茨城県)

賀持 喜道(神奈川県)・松本 隼作(京都府)

上釜 増之助(大阪府)

優勝 茨城県



第2回日整全国少年柔道形競技会

優 勝／東海東部(愛知県)

準優勝／四 国(香川県)

3 位／東海西部(三重県)

4 位／中 国(岡山県)

第20回

日整生涯学習講習会

平成24年10月7日(日) 於 日本柔整会館



副会長

小 川 平八郎

平成24年10月7日(日) 日整会館に於いて第20回日整生涯学習講習会が、国際部報告会、学術講習会と共に開催されました。

最初に国際部報告会があり、日本伝統治療(柔道整復術)普及国際活動が報告されました。

次に、特別講演として愛知県社団会員の久野信彦先生が「100歳まで歩ける！クノンボールエクササイズ」という演題で講演されました。

続いて、全国ボランティア活動報告として、公益社団法人大阪府柔道整復師会の川口靖夫副会長より次の5項目が報告されました。

- ①府民対象の健康づくり事業
- ②少年柔道大会、成人柔道大会の実施
- ③大阪府内で実施されるスポーツイベント等への救護員の派遣
- ④府民向けの広報誌「大阪府柔道整復師会ニュースCURS(キュアーズ)」の発行

⑤東日本大震災に於ける各種支援活動の実施
午後からは学術講習会が開催され、富山大学大学院教授の西条寿夫先生より「接骨院・整骨院での痛みの治療～痛みを少なくし元気に生活する～」という演題で富山大学寄附講座報告が行われました。本講座の研究により、現在でも原因不明の痛みの一つである筋肉の痛みの特徴と、その痛みに対する接骨院・整骨院での治療(手技療法・電気療法・温熱療法)の有効性が判ってきたことが紹介されました。

特別講演終了後は生涯学習活動報告があり福岡県の高単位取得者は36名でした。又、全国ボランティア活動報告では福岡県は、高単位取得者は93名で、その内19名が優良会員表彰でした。



挨拶する萩原日整会長



久野信彦愛知県柔道整復師会会員



西条寿夫富山大学大学院教授

第39回

日整親善ゴルフ千葉大会

平成24年9月17日(月・祝) 於 紫カントリークラブ



『県への貢献と喜び』
久留米北支部
枝 光 幹 夫



『意義ある大会』
大牟田・有明支部
古 賀 龍 児

平成24年9月17日(月・祝)、第39回日整親善ゴルフ大会が千葉県の紫カントリークラブで開催されました。

このコースは以前第33回の千葉県大会の時に回っていました、距離はなく、松林が多く狭い印象がありました。

スタートしたら、力んだせいか1番ホールから林の中で、横に出せばよかったですですが、少し前が空いていたので2オンを狙ったら、木に当たり、木の根っこで深みにはまり、トリプルボギーで、最初のハーフは2トリプルボギー・1ダブルボギー・2バーディー・42と出入りの激しいラウンドとなりました。後半はビールも入ったお陰で変な力も抜けて、他県の先生方も楽しくラウンド出来たのが幸いして、後半35と調子よく回ることが出来ました。

結果もハンディと同伴者に恵まれまして3位となり、少しあは県に貢献でき嬉しく思っております。

最後になりましたが、いろいろお世話して下さいました先生方には大変お世話になり有難うございました。



前日夕食会での福岡県チーム選手団の紹介風景



『総州紫田舎社中にて』
福岡東支部
岡 義 治



『また参加したい大会』
北九州中央支部
岩 田 隆 司

第39回日整親善ゴルフ千葉大会が平成24年9月17日(月・祝)会場は千葉県紫カントリークラブで行われました。

今回は大阪の片手シングルの先生とのペアリングでしたので、ついていくこうとがんばりましたが、ハンディにも恵まれず56位と云う成績に終わりました。

今回も東日本大震災のチャリティを兼ねており、親善とチャリティと云う意義ある大会だったと思います。

最後になりましたが、今回参加させていただき、福岡県柔道整復師会に感謝申し上げます。有難うございました。

平成二十四歳九月十七日
杖刀人*首一行六名、遣総州紫田舎社中*手合之時、
筑後守遠賀義治作歌

反歌:千万乃手合為奈利友言拳不為
取而可來男常曾念

反歌:土也母 空恋有 万代爾

語続可 名者不立戸母

短歌:千葉乃野炎 立所見而

反見為者 月西渡*

和歌一種:奥山に紅葉踏み分け探す差に

球有る時ぞ、声の聞こえく。

和歌一種:わが思い、坊主頭と櫛に似て、

結う*に結われず、搔くに搔けなし

川柳一句:真打も、パッとせぬ寄席“トリ”逃がす
ゴルフと月、運、一句:

つき呼ぶ月はこの月につき

つきに着かれてつきにけり

自省の歌:風誘う花よりもまた、如何にとやせむ
いずれも同じ秋の夕暮れ

*総州紫田舎社中=千葉県紫カントリークラブ

*杖刀人=ウッド、アイアン持ち

*月西渡=運・傾・了

*真打=芯打ち。 *寄席=寄せ、アプローチ

*トリ=バーディ

*結う=言う。 *搔く=書く

全国大会に選ばれたのは2回目で、「今日は」という思いでかなり練習をして挑んだ結果、3ホール目であえなく撃沈しました。

同じ組の他県の先生が優勝と準優勝という結果で、自分の実力の無さが分かりました。月1ゴルファーではバグロは無理ですね。でもゴルフは他のスポーツと違ってハンデキャップがあり実力がない者でも優勝のチャンスがある所に面白さがあります。

大会に参加して思った事は、全国から集まった先生と前日の夕食会で色々と語り合い、知り合いになる事ができ次の日にプレーをする事が親善ゴルフのいいところだと思います。

また機会があれば自費でも参加したいです。

松岡会長、塩川副会長には色々とお世話をありがとうございました。先生達の見えないご苦労が解り感謝に絶えません。

日本柔道整復師会九州ブロック会

第35回 大分大会 柔道大会

平成24年7月15日(日) 於 大分県立総合体育館柔道場



マネージャー
中島 保幸

厚生労働大臣杯争奪第35回日本柔道整復師会九州ブロック会柔道大会が平成24年7月15日(日)大分県立総合体育館の柔道場に於いて開催されました。

大会には九州各県から80名の選手が参加されました。福岡県は20才代2名、30才代5名、40才代7名、50才代4名、計18名の選手が出場しました。

開会式では特別表彰者の表彰状授与が行われ25回以上出場の石坂修一選手、20回以上安東喜八郎選手、10回以上古賀健選手、5回以上力武雄一選手が表彰されました。

試合は全選手が日頃の練習の成果を発揮され熱戦を繰り広げられました。

結果、個人戦では別表通り各年代全て福岡県が優勝し団体成績も1位となり4連覇を達成しました。

今年は本県開催予定ですので選手の皆様には益々精進され団体5連覇を目指し頑張って頂きたいと思います。

最後にお忙しい中応援に来て下さいました会員の先生方に深く感謝申し上げます。誠に有難うございました。



全ての年代の部を制覇して4連覇達成 通算24回目の優勝

福岡県の個人成績

- 【50才代の部】優勝／石坂 修一(北九州西支部)
- 【40才代の部】優勝／檜山 尚浩(筑豊支部)
- 【30才代の部】優勝／富永 忠雅(福岡西支部)
- 【20才代の部】優勝／半田 竜也(久留米北支部)

第3位／矢永 俊文(久留米北支部)

古賀 健(久留米北支部)

準優勝／川村 一之(福岡東支部)

介護予防・機能訓練指導員認定柔道整復師講習会

平成24年8月4日(土)・5日(日) 於 福岡県整骨会館



副会長・総務部長
塩川 哲也



20才代の部優勝 半田選手(右) 30才代の部優勝 富永選手(右)



40才代の部優勝 檜山選手(右) 50才代の部優勝 石坂選手(右)

平成24年8月4日(土)、5日(日)に福岡県整骨会館2Fにおいて、介護予防・機能訓練指導員認定柔道整復師講習会が九州ブロック会主催で開催されました。

本講習会は福岡では3回目の開催となり、講師として前回と同じく、筑波大学名誉教授 芳賀脩光先生と(公社)日本柔道整復師会保険部介護対策課より三谷誉先生をお迎えし、九州各県より総勢87名の参加となりました。

講習会のカリキュラムは以下の通りです。

【芳賀先生担当】

- ①21世紀における高齢者福祉の課題
- ②加齢に伴う身体のリスクマネジメント
- ③高齢者の体力評価および体力測定
- ④運動指導の実際

【日整介護対策課担当】

- ①介護予防と柔道整復師
- ②ICFの概念と個別機能訓練
- ③個別機能訓練評価票記入方法
- ④失禁予防について
- ⑤認知症予防について
- ⑥柔整師の介護予防手法

本講習会の受講者数は全国で約10,000名に及んでおり、地域支援事業への各都道府県における参入状況も、平成19年の8月では16都道府県、49市町村だったのが、平成23年4月では31都道府県157市町村と大幅に増えてきております。

尚、福岡県内においても少しずつではございますが、自治体とお話を出来るようになってきました。一部市町村と介護予防事業の契約を結べることになりました。

但し、この講習会を受講して介護に関する知識を習得していないと、実際に機能訓練指導員として契約を締結する際、選考基準として自治体が契約を認めないケースが多いのが現状です。

従って、将来的な展望を切り開く好機に備えて、つまり、機能訓練指導がいつでも出来るように未受講の先生方は是非とも受講頂き、地域支援事業に積極的に参画頂きますよう宜しくお願い致します。



講師の(左)芳賀脩光先生と(右)三谷誉先生



講習会風景

第36回

九州ブロック会親善ゴルフ大会

平成24年5月20日(日) 於 司ロイヤルゴルフクラブ



大牟田・有明支部
古賀 龍児



福岡県チーム選手団のみなさん

平成24年5月20日(日)第36回九州ブロック会親善ゴルフ大会が、熊本県の司ロイヤルゴルフクラブで行われました。

「出場することに意義がある」との思いで、毎回ほぼ欠かさず出席させていただいています。

今日は九州ブロック出場自己最高位の3位と云う成績で、団体戦に少しほは貢献できたかなと思っております。

熊本県に団体戦連覇を許してしまった、来年こそは団体優勝奪還に向けがんばりたいと思います。



第36回日整九プロ親善ゴルフ大会参加者のみなさん

大会結果

団体

〈優勝〉

熊本県(園田・外山・松田) 221.8

〈準優勝〉

福岡県(古賀・小川・山田) 224.8

〈3位〉

長崎県(三木・平川・山田) 226.2

個人

〈優勝〉

松田 浩久(熊本県) 75(ネット75.0)

〈準優勝〉

園田 空海(熊本県) 77(ネット72.2)

〈3位〉

藤田 孝次(大分県) 81(ネット72.6)

文部科学大臣杯・柔整旗争奪

第32回

福岡県少年柔道大会

平成24年6月3日(日) 於 福岡武道館



大会副委員長
重松 哲夫

平成24年6月3日(日)9時30分から、福岡武道館に於いて文部科学大臣杯・柔整旗争奪第32回福岡県少年柔道大会が開催されました。

当日は朝から爽やかな晴天に恵まれて、絶好の大会日和となりました。

この大会は青少年の健全育成と柔道の普及振興

を目的に開催され、今回の参加者数は71チーム、約420名となりました。

大会は役員選手入場後、大会委員長の開会宣言、君が代斉唱、前年優勝チームの東福岡柔道教室による優勝旗・優勝杯返還、大会会長挨拶、来賓祝辞、審判上の注意、選手宣誓と行われました。

その後、各試合場では団体戦から個人戦の順で試合が行われました。

各試合場では熱戦が繰り広げられ、随所で好試合が見られました。大会は大きな負傷者もなく、無事盛会裡に終了することができました。

尚、試合の成績は別表の通りですが、団体の部で



開会式風景



大会会長挨拶



前年度優勝チームの優勝旗・優勝杯返還



選手宣誓

福岡県少年柔道大会

は、昨年第3位の高武館と大刀洗豪武館が決勝戦を戦い、大刀洗豪武館が優勝し、日整全国少年柔道大会福岡県代表チームとなりました。

この大会も関係各位や先輩方のご尽力のお陰により、毎年継続して開催しております。公益社団法人移行に伴い、次回の第33回大会からはこれま

で以上に本会の公益事業として重要な位置づけとなりますので、永き良き伝統を受け継ぎ、益々充実した大会になるよう、微力ながら尽力したいと思います。

最後になりましたが、大会運営係としてお手伝い頂いた先生方や関係者各位に、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

団体の部 成績結果



大刀洗豪武館7年ぶり2回目の団体優勝



団体の部 準優勝・高武館



団体の部 第3位・東福岡柔道教室

優 勝
大刀洗豪武館
(久留米地区)

準優勝
高 武 館
(北九州地区)

3位
東福岡柔道教室
(福岡地区)
脩 柔 館
(久留米地区)

個人の部〈男子〉成績結果



	氏名	道場名
優勝	なかの ともひろ 中野 智博	たちあらいごうぶかん 大刀洗豪武館
準優勝	いとせ だいき 糸瀬 大輝	ちやまどうじょう 乳山道場
3位	やまもとこうせい 山本航勢	じゅうせいかい 柔誠会
	たけぱやしゆうき 武林勇喜	こうぶかん 高武館

	氏名	道場名
優勝	もりけんしん 森健心	しょうぶかん 尚武館
準優勝	くまがいいつき 熊谷一起	ちくぜんまちしょうねんだんじゅうどうふ 筑前町スポーツ少年団柔道部
3位	いでのこはく 井手湖船	こうぶかん 高武館

	氏名	道場名
優勝	おおぐろかい 大黒海	きたきゅうしうかつきどうじょう 北九州香月道場
準優勝	はらだかずき 原田一輝	かつやまじゅうどう 勝山柔道クラブ
3位	たけやかずき 竹家和希	しまじゅうどう 志摩柔道スポーツ少年団

個人の部〈男子〉試合風景



福岡県少年柔道大会

個人の部〈女子〉成績結果

4年生



	氏名	道場名
優勝	もり 森 心晴	尚武館
準優勝	しの 篠崎 英夢	大刀洗豪武館
3位	くぼた 久保田 稔己	柔道戸畠道友会
	おばた 尾畠 ほのか	小倉東少年柔道クラブ

5年生



	氏名	道場名
優勝	はたえらら 波多江 楽良	波多江柔道スポーツ少年団
準優勝	さんこだよしなな 三小田 佳奈	柳川柔道会
3位	はらだあいこ 原田 愛子	角道場
	つじのるるか 辻野 瑞流伽	正心館

6年生



	氏名	道場名
優勝	そね 素根 輝	脩柔館
準優勝	こが 古賀 早也香	三潴スポーツ少年団柔道部
3位	むかえめい 向江 萌生	志摩柔道スポーツ少年団
	いけはるな 池 春菜	雷山柔道

個人の部〈女子〉試合風景



第20回

福岡県整骨医学会

平成24年3月18日(日) 於 福岡県整骨会館

学術部長
吉村 喜彦

た。発表者の先生方お疲れ様でした。

論文審査の結果、上位2編に選ばれた筑豊支部の原口正秀会員と、福岡南支部の角家豊会員の論文が、(公社)日本柔道整復師会九州学術大会並びに、日本柔道整復接骨医学会学術大会への応募論文と決定しました。そして、両先生とも上位学会におきまして堂々の発表を行いました。お疲れ様でした。

学術部では、会員の先生方の日々の臨床技術の研鑽にお役に立てるよう、より有益な情報発信に努めております。一昨年度から、学会への新たな取り組みもあって、出席者数は増加しています。今後とも学術部へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

特別講演をする講師の
一ツ松勤先生松岡学会長・
吉村実行委員長と
発表者達

福岡県整骨医学会 発表を終えて



「バランスボールを使用した腰痛改善の一考察」

北九州南支部
井 手 武

今回、論文発表の順番になり最初演題を何にしようかと悩みましたが、以前より自己体力作りにとやっていたバランスボールを題材にと考えたのですか、どのように施術に取り入れてやっていこうか悩んだ際、支部学術部の先生達と相談しながら何とか決まりました。

しかし検査結果など上手くいかず、学術の先生方には大変お世話になりました。

また論文の書き方もご指導頂きとても勉強になり、無事完成させる事が出来まして感謝しております。

発表は流石に緊張しまくりで、リハーサルの時などは、口がカラカラになりましたが、本番では何とか無事に終わる事が出来安心いたしました。

最後にご指導頂いた先生方、本当に有難う御座いました。



「経過緩慢な腰部痛に対する施術方法の一考察」

福岡東支部
木 下 隆

今回、「経過緩慢な腰部痛について」の論文を発表させて頂きました。

現在来院される患者さんの中での疾患で腰部の痛みは多く、施術に対して悩まれる先生方も多いと思い、私の一考察と経験を発表致しました。

発表に際しては、いかに解り易く、聞かれてある先生方へ伝わるかが一番不安でした。

いろいろアドバイスを頂き、短い時間でしたが自分の考え方や技術をしっかりと伝える事が出来たと

思います。

今回の私の発表で、少しでも諸先生方のお役に立てれば幸いと思っております。

また、他の先生方の論文も私にとって大変勉強になりました。発表にいたるまでのアドバイスを下さった学術部等の先生方には深く御礼申し上げます。

貴重な経験をさせて頂きまして、誠にありがとうございました。



「拇指MP関節側副靱帯損傷における固定方法の一考察」

大牟田・有明支部
庄 島 太 朗

まずは、論文の制作に尽力してくださった支部の学術の先生方に、この場をお借りして感謝を申し上げます。有難うございました。

「テーマ決め」から「文章作成」「構成」と思った以上に大変な作業であり、試行錯誤を重ね、ようやく完成する事が出来ました。又、発表に関しては、他支部の学術の先生方にも大変お世話になり、懇親会、二次会でも色々なお話をさせて頂く貴重な機会がありました。

ただ、前日のリハーサルで吉村学術部長に“声が大きくて聞き取りやすい”と褒めて頂いたにも関わらず、その後の二次会ではしゃぎ過ぎて、当日本番で声が出にくくなつたという点は大いに反省すべきでした。

発表後の“ほっ”とした解放感は何とも言えなかつたですね。



「腰部痛に対する股関節へのアプローチ」

久留米南支部
長 村 博 士

この度は、第20回福岡県整骨医学会での論文作成にあたり、久留米南・北支部長をはじめ学術部の先生方には夜遅くまでご指導・ご協力いただき、このようなすばらしい論文が出来上がった事に、厚く御礼申し上げます。

ただ一つ心残りなのは、医学会前に体調をくずし当日直に発表出来なかった事が、残念で誠に申し訳なく思っています。が、しかし私より若い先生たちと論文についていろんな意見を交わしたこの約1年間は、自分にとっては最高の財産になったのではないかと思っています。

そして、これから日常の診断施術の研究を怠ることなく、私も一人の柔道整復師として頑張って行こうと思っています。



「舟状骨結節部骨折の経過」

福岡西支部
淀 川 友 義

今まで論文の発表などとともに経験したことがない私が、今回人前で発表させていただく機会を得ることができました。

わずか数分しかない論文の発表でしたが、人前で自分の論文を発表することがこんなに緊張することなのか、その作成を行うことがいかに大変な作業であるかということを改めて思い知らされました。

しかし、今回の論文を作成しながら同時に施術を進めていく過程において、自分の知識や施術方法などを再認識する良い機会となりました。この経験を

福岡県整骨医学会 発表を終えて

糧にさらに柔道整復術を研鑽していこうと思います。

最後に、この場をお借りして論文を作成する過程で様々な先生方と面識を持つことができ、お話を拝聴して大変貴重な時間を過ごさせて頂きました。アドバイスや細かな作業などを御協力頂きました支部学術部の先生方、および諸先輩方に感謝申し上げます。

ありがとうございました。



「太極拳体操を用いた高齢者の転倒予防」

北九州中央支部
小 野 健 一

初めての論文発表であった為、福岡県整骨医学会の発表のずっと前から緊張していました。論文作成も大変でしたがパソコン操作をしながらの発表が要領を得ず苦労しました。伝える難しさが身にしみてわかりました。

発表を終えると安心感と共に、未熟な発表ではありましたか達成感を得ることが出来ました。この経験を生かして今後も一生懸命頑張っていこうと思います。

論文作成・発表の中で学術部の先生方や他支部の先生方とお話しする機会を得て大変有意義な時間を過ごせました。

学術部の先生方に、論文作成のアドバイスやパソコンの使い方や発表の練習など、夜遅くまでご協力頂き無事に発表を終えることが出来ました。

本当にありがとうございました。

福岡県整骨医学会 発表を終えて



「弛緩性左梨状筋症候群に対する、
「湿」の考え方を用いた
評価・施術法について」

久留米北支部
佐 藤 貴 士

私は、人前で話をするなど殆ど経験がなく、ましては先生方の前でなど絶対に無理だと思い、どうにかしてパスできないか考えましたが、いい考えもなくパスすることも出来ませんでした。そんな心配をしながら論文作成が始まりました。

論文作成など初めてでしたし、あまり深く考えずに簡単に治療法を説明出来ればよいのかと思っておりました。しかし自分では解っているつもりでも人に伝えようと思ったら大変難しく、自分の勉強不足を痛感しました。先生方にも伝わらないと言うことは患者さんにも今までしっかり説明してきたつもりでしたが、どれだけ理解して頂けてたのか大変反省いたしました。そんな自分ででしたが最後まで親切、丁寧にサポートしていただいた学術部の先生方のお陰で無事に論文が完成し最後の難関の発表、考えただけで緊張してました。

やはりリハーサルでは本当に心臓が飛び出しそうになりました。翌日、本番どうなるかと思いましたが、何故かリハーサルと違い多少緊張しましたが落ち着いて発表が出来、自分でも不思議な気持ちでした。そんないろいろな体験が出来た今回の整骨医学会は自分にとって大変貴重な大切な時間でした。

本当に整骨医学会に関わってある先生方には感謝しております。ありがとうございました。



「腰部脊柱管狭窄症による
疼痛緩和及び機能回復への
アプローチ」

北九州西支部
松 元 竜 基

今回の発表にて於いて、北九州支部江頭先生、井上先生には貴重な時間を使ってサポートして頂きました事に、大変感謝致しております。

昨年発表致しました脊柱管狭窄症の患者をさらに追跡調査及び新たな患者を施術しました所、非常に皆様良好な結果が維持されております。

やはりその結果物理療法、手技療法で温存治療が可能な場合も少なく無いと思いました。

全ての患者に適応ではないでしょうが、限りなく手術と言われた患者の温存が出来ると現在感じております。

今後も色々な角度から柔整師として可能な限り痛みを取り体の機能を十分發揮出来る施術を日々邁進して行きたいと思います。

平成24年度

保 険 研 修 会

平成24年10月20日(土) 於 JR九州ホール



副会長・保険部長
村 田 栄 治

平成24年10月20日(土) 15時から、JR博多シティ9階のJR九州ホールに於いて、平成24年度保険研修会が開催されました。

今回、出席した会員数は622名中612名となり、出席率は98.4%と高いものとなりました。



開会に際し、松岡会長から挨拶があり、その中で「この研修会の目的は、協定の内容や療養費の取扱いのルールについて再度確認して頂くことです」と話され、終わりには「プロである以上知らなかつたではすまされません。分をわきまえ、自分勝手な解釈や判断をしないようにお願いします」と締め括られました。

その後、5名の講師の先生方が紹介され、保険研修会団体指導が以下の順で行われました。

- ①福岡労働局労災補償課 鍋島 徹 労災医療監察官『労働者災害補償保険請求時における注意点』
- ②九州厚生局指導監査課 川畑 忠広 医療指導監視監査官『受領委任の取扱いと指導監査について』
- ③福岡県保健医療介護部医療保険課 大賀 繁城事務主査『柔道整復師療養費について』
- ④全国健康保険協会福岡支部 石原 俊一郎 業務第一グループ長『公的審査会の現状について』
- ⑤福岡県国民健康保険団体連合会療養費係 森 玲子 係長『国保・高齢者医療の審査における注意事項』

平成24年度

新入会員保険研修会

平成24年2月9日(土) 於 福岡県整骨会館



副会長・保険部長
村田 栄治

平成25年2月9日(土)15時より、福岡県整骨会館に於いて、新入会員保険研修会が開催されました。

今回出席された先生方は、平成24年1月から12月までに入会されたA会員40名で、内訳は開設者

で管理柔整師の先生が24名、勤務している管理柔整師の先生が16名となりました。

研修会冒頭に松岡会長より挨拶があり「この研修会の目的は、施術録の正しい記載方法と、保険取扱いの正しい知識を身に付けて頂くことです」と述べられ、続いて、卒後臨床研修医療人研修講座の重要性、管理柔整師の責任、不正請求等について話されました。

その後、各担当理事から施術録、受付簿、日計表の確認、療養費取扱い遵守事項、注意点等について研修が行われ、参加された先生方は全員熱心に耳を傾

けておられました。

研修後の総評では、施術録の原因や症状経過の記載内容、日計表の材料費以外の記載、保険証の取扱い等についての指摘もありましたが、全体的に日計表、施術録とも大変良く整備出来ていたといった好評価を多く頂きました。

施術録は保険請求の根拠となるものであり、きちんと整備された施術録は、保険者の照会等に対しても自分を守る大切な証拠資料となります。

新入会員の先生方におかれましては、本会入会の意義、並びに本研修会で学んだ施術録の意義を再認識し、療養費の適正な取扱いを行うと共に、これから先の長い柔道整復師としての道程を歩んで頂きたいと思います。

最後に、この研修会が来年以降も益々充実した研修会となりますよう切に願っております。



開会風景



研修会風景

第22回

福岡県生涯学習研修会

平成25年1月26日(土) 於 電気ビルみらいホール



学術部長
吉村 喜彦

平成24年度の第22回福岡県生涯学習研修会を平成25年1月26日(土)午後4時より、電気ビルみらいホールに於いて、特別講演講師に公益財団法人柔道整復研修試験財団代表理事で東京慈恵会医科大学教育センター教授の福島統先生をお迎えして盛大に開催いたしました。当日は、多くの会員の先生方にご出席いただきまして誠に有難うございました。

特別講演は「卒前教育、卒後研修そして生涯学習」～国民に求められる柔整師になるために～というテーマで約1時間30分に渡って行われました。患者さんをよく観察し、その違いに関心を持って施術に取り組むことが仕事を好きになることであり、医療事故を防ぎ、ひいては他者を幸せにすることに繋がるとご教授いただきました。そして生涯に渡つて医療の一端を担う者として、その姿勢を貫くことの重要性を説かれました。

講演終了後に、平成23年度生涯学習高単位取得者表彰が行われました。筑豊支部塩川知志会員・同支部石本芳之会員・同支部原口正秀会員が日整表彰を受け記念品が贈呈されました。



講演する福島統先生



平成23年度生涯学習高単位取得者表彰・日整表彰を代表して受ける塩川会員



開会風景

第28回

福整会ゴルフコンペ

平成24年6月10日(日) 於 JR内野カントリークラブ

大牟田・有明支部
古賀 龍児北九州中央支部
岩田 隆司

平成24年6月10日(日)筑紫野市のJR内野カントリークラブにおいて第28回福整会ゴルフコンペが総勢49名の参加のもと盛大に開催されました。

コンペ当日は気象庁より北部九州が梅雨入りしたとの発表直後だったので天気が心配でしたが、当日は朝から晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。

私は、例年比較的遅い組で若手の先生方と一緒にコースを回る事が多かったのですが、今年は何故か1番組のスタートで、しかも県役員の先生方と同じ組になるということで緊張感を持ってプレーをすることになりました。

しかしながら、かえってそれが良かったのか成績は個人の部では並み居る凄腕の先生方の中、準優勝という素晴らしい結果を残すことができました。また、支部対抗団体の部では大牟田有明支部が6年ぶり3回目の優勝と本当に良いことづくめの一日なりました。

引き続き、来年も素晴らしい結果が残せるよう頑張りたいと思います。



第28回福整会ゴルフコンペ参加者のみなさん

団体結果

優 勝 / 大牟田・有明支部(古賀、庄島、本田)	221.4
準優勝 / 久留米南支部(肥後橋、竹下、野間口)	222.8
3 位 / 筑豊支部(石本、塩川、橋本)	223.6

個 人

優 勝 / 岩田 隆司(北九州中央支部)	95(ネット71.0)
準優勝 / 古賀 龍児(大牟田・有明支部)	80(ネット71.6)
3 位 / 岡 義治(福岡東支部)	91(ネット73.0)
ベストグロス / 枝光 幹夫(久留米北支部)	78

■日整代表選手

岩田 隆司・古賀 龍児・岡 義治・枝光 幹夫

平成24年度

支 部 活 動 報 告

〈福岡東支部〉

広報通信員
梅村 忠嗣

●平成24年4月7日(土)

定時総会・懇親会(福岡東映ホテル)
支部活動、収支決算が報告承認され、活動予定、予算案が審議承認されました。

〈平成24年度役員名〉

支 部 長	小林 信哉
副支部長	西宮 裕二
総 务	増田 隆志
副 総 务	木下 隆
經 理	梅村 忠嗣
学 術	小松 道生

●平成24年9月26日(水)

役員会(ロイヤルホスト)

●平成24年10月21日(日)

少年柔道錬成会並びにテーピング講習会
(古賀市武道館)

福岡東支部の事業であり、多数の小中学生と会員の先生達のご協力の下盛大に開催されました。



●平成25年1月19日(土)

福岡東・西・南支部合同学会・新年会
(福岡東映ホテル)

各支部一名ずつの学術発表の後、新年会が賑やかに行われました。

●平成25年1月26日(土)

新入会員カルテ指導(福岡東映ホテル)

●平成25年3月9日(土)

福岡東・西・南支部合同保険研修会
(福岡県整骨会館)

●平成25年3月6日(水)

役員会(ロイヤルホスト)

【学術部会】

平成24年7月18日(水)、8月22日(水)、9月5日(水)、26日(水)、10月10日(水)、31日(水)、11月21日(水)、28日(水)、平成25年1月18日(金)、3月9日(土)計10回行されました。

★多数の先生方のご協力有り難うございました。

〈福岡西支部〉

広報通信員
竹原 伸治

●平成24年4月14日(土)

定時総会(福岡市西市民センター)

〈平成24年度役員名〉

支 部 長	満山 悅朗
副支部長	曲渕 靖洋
総 务	力武 雄一
学 術	松山 基博

- 経理 平野 浩二
監事 田口 秀隆
副総務 竹原 伸治
副学術 梶山周太郎
副経理 中村 健一
●平成24年6月14日(木)
役員会(みつやま整骨院)
●平成24年7月28日(土)
定例会(福岡市西市民センター)
●平成24年9月6日(木)
役員会(みつやま整骨院)
●平成24年10月21日(日)
レクレーション
●平成24年12月15日(土)
忘年会
●平成25年1月19日(土)
福岡東・西・南支部合同学会・新年会
(福岡東映ホテル)
●平成25年2月9日(土)
福岡東・西・南支部合同保険研修会(整骨会館)

【学術部会】

平成24年10月17日(水)、31日(水)、11月7日(水)、
21日(水)、29日(木)計5回(松山整骨院)行われました。



学術研修会風景

★今年度の研修会では、富岡会員による研究発表が行われ、勉強熱心な会員による質疑応答が多く成され大成功に終わりました。
また、レクレーション(バーベキュー)には、多くの会員の家族や友人等も参加し大変貴重な交流会となりました。
来年度も支部長を中心に支部活動を行ってまいりますので、多くの会員の参加とご協力のほど宜しくお願い致します。

〈福岡南支部〉

広報通信員
市川 芳恵

- 平成24年4月9日(月)
定時総会(福岡南市民センター)
(平成24年度役員名)
支 部 長 久保山 茂
副支部長 中津川晴洋
会計理事 東野 重徳
学 術 中村 博高
総 务 藤 修治
●平成24年6月12日(火)
理事会(中津川整骨院)
●平成24年7月7日(土)
定例会(福岡南市民センター)
●平成24年10月16日(火)
理事会(中津川整骨院)
●平成24年12月5日(水)
理事会(中津川整骨院)
●平成24年12月8日(土)
定例会(福岡南市民センター)
懇親会

- 平成25年1月19日(土)
福岡東・西・南支部合同学会・新年会
(福岡東映ホテル)
●平成25年3月2日(土)
介護予防研究会(福岡市立西市民センター)



介護予防研修会実技風景

- 平成25年3月9日(土)
ボーリング大会

【学術部会】

平成24年度は14回の学術部会を行いました。
よこて整骨院………1回
中津川整骨院………1回
養命堂整骨院………12回

★平成25年度も南支部は久保山支部長を中心にチームワークで活動をしていきたいと思います。
今後とも支部会員の先生方の支部活動への参加とご協力を宜しくお願い致します。

〈筑豊支部〉

広報通信員
白木原 学

- 平成24年4月21日(土)
定時総会(パドドウ・ル・ことぶき)

- 平成24年度役員名
支 部 長 山中 信雄
副支部長 上田 治郎
副支部長 中尾 太城
理事(総務) 澄井 裕治
理事(経理) 橋本 浩二
理事(学術) 石本 芳之
理事(広報) 白木原 学
理事(事業) 磐辺 隆治
理事(書記) 原口 正秀
監 事 水城 暉夫
●平成24年4月26日(木)
第1回理事会(上田整骨院)
●平成24年5月17日(木)
第2回理事会(上田整骨院)
●平成24年7月8日(日)
第23回筑豊三四郎会(嘉穂高校柔道場)
●平成24年7月26日(木)
第3回理事会(上田整骨院)
●平成24年9月1日(土)
第1回定例会並びに筑豊学研・テーピング研究会
(パドドウ・ル・ことぶき)
●平成24年10月18日(木)
第4回理事会並びに上期監査会(上田整骨院)
●平成24年10月27日(土)
レクレーション



定時総会風景

- 平成24年12月8日(土)
第2回定例会並びに忘年会(パドドゥ・ル・ことぶき)
- 平成25年2月23日(土)
第9回生涯学習研修会並びに第5回理事会・役員研修会・学術研修会(パドドゥ・ル・ことぶき)
- 平成25年3月7日(木)
第6回理事会(上田整骨院)

【学術部会】

平成24年度は8回開催(上田整骨院)

★来年度は、公益社団法人での支部活動初年度になりますので、今まで以上に支部会員のご支援ご協力をお願いします。

〈北九州西支部〉

広報通信員
西本 健二

- 平成24年4月7日(土)
定時総会(北九州パレス)
〈平成24年度役員名〉
支 部 長 有菌 健一
副支部長 白木 雅巳
理 事 西本 健二
監 事 江頭 輝彦
学 術 井上 敬仙
議 長 大島 健二
- 平成24年5月13日(日)
第7回北整ショット杯(勝山御所CC)
- 平成24年5月23日(水)
桜クリニックとの研修会(桜クリニック内)
- 平成24年9月8日(土)
新小文字病院特別講演会(新小文字病院)
- 平成24年10月13日(土)

【学術部会】

平成24年度は10回の学術部会を行いました。



第7回北整ショット杯参加者達

- 定例会・生涯学習研修会
- 平成24年10月26日(金)
第1回役員会(青山ロイヤルホスト)
- 平成24年11月10日(土)
小文字病院脊髄脊椎外科講習会(福岡新水巻病院)
- 平成24年11月18日(日)
第8回北整ショット杯(セントレジャーGC鞍手)
- 平成24年12月1日(土)
北九州西・南・中央支部合同役員会
(ステーションホテル小倉)
- 北九州西・南・中央支部合同冬季懇親会
(ステーションホテル小倉)
- 平成25年1月5日(土)
初顔合わせ会
- 平成25年1月12日(土)
第28回北九州西・南・中央支部合同柔道整復学会
(北九州パレス)
- 平成25年3月2日(土)
平成24年度北九州西・南・中央支部合同保険研修会
(TKP小倉シティセンター)
- 北九州西・南・中央支部合同役員報告会
(ステーションホテル小倉)

★今年度も有菌支部長を中心に有意義な支部活動ができました。
また来年も支部会員の先生方のご協力を宜しくお願いいたします。

〈北九州南支部〉

広報通信員
井 手 武

- 平成24年4月7日(土)
定時総会(北九州パレス)
〈平成24年度役員名〉
支 部 長 姫野 直樹
副支部長 相良 昌策
会計理事 井手 武
監 事 小野 光一
学術委員 敷田 和彦
議 長 大原 康宏
- 平成24年4月9日(月)
支部役員会議(ガスト)
- 平成24年5月13日(日)
第7回北整ショット会(勝山御所CC)
- 平成24年8月21日(火)
100キロウォーク救護説明会議(ガスト)
- 平成24年9月8日(土)
新小文字病院 脊髄脊椎外科 特別講演会
(新小文字病院)
- 平成24年9月25日(火)
100キロウォーク救護会議(ガスト)
- 平成24年10月6日(土)
100キロウォーク救護参加
(宇佐チェックポイント)
- 平成24年10月7日(日)

100キロウォーク救護参加
(日出チェックポイント)
前日午後10時過ぎより7日午後12時迄仮眠も取らず救護活動された先生方お疲れ様でした。長く続けられる様頑張りましょう。



- 100キロウォーク出張整骨院救護風景
- 平成24年11月18日(日)
第8回北整ショット会(セントレジャーGC鞍手)
 - 平成24年11月20日(火)
100キロウォーク救護反省会議(ガスト)
 - 平成24年12月1日(土)
北九州西・南・中央支部合同役員会
(ステーションホテル小倉)
 - 北九州西・南・中央支部合同冬期懇親会
(ステーションホテル小倉)
 - 平成25年1月12日(土)
第28回北九州西・南・中央支部合同柔道整復学会
(北九州パレス)
 - 平成25年2月23日(土)
定例会・懇親会
 - 平成25年2月26日(火)
役員会(ガスト)

- 平成25年3月2日(土)
北九州西・南・中央支部合同保険研修会
(TKR小倉シティセンター)
北九州西・南・中央支部合同役員報告会
(ステーションホテル小倉)

【学術部会】
平成24年度は10回の学術部会を行いました。
★今後とも支部会員の先生方の支部活動へのご参加、ご協力宜しくお願い致します。

〈北九州中央支部〉



広報通信員
安 東 靖 真

- 平成24年4月7日(土)

定時総会(北九州パレス)

〈平成24年度役員名〉

支 部 長	高山 是利
副支部長	衛藤 喜徳
	川西孝二郎
理 事	安東 靖眞
監 事	渡邊 晃嗣
学 術	岡 久詞
議 長	宮原 孝之

第1回役員会(ジョイフル小倉井堀店)

- 平成24年5月13日(日)

第7回北整ショット杯(勝山御所CC)

- 平成24年5月19日(土)

第2回役員会(北九州パレス)

- 平成24年6月23日(土)

第3回役員会

- 平成24年8月25日(土)

定例会・懇親会

- 平成24年9月8日(土)
新小文字病院特別講演会(新小文字病院)
- 平成24年10月20日(土)
第4回役員会(JR九州ホール)
- 平成24年11月18日(日)
第8回北整ショット杯(セントレジャーGC鞍手)
- 平成24年12月1日(土)
北九州西・南・中央支部合同役員会
(ステーションホテル小倉)
- 北九州西・南・中央支部合同冬期懇親会
(ステーションホテル小倉)
- 平成25年1月12日(土)
第28回北九州西・南・中央支部合同柔道整復学会
(北九州パレス)
今年も公益法人化を見据えてオープン形式で開催され、特別講演として「脊髄脊椎疾患について」という演題で、新小文字病院脊髄脊椎外科部長 高橋雄一先生にご講演頂きました。



北九州西・南・中央支部合同柔道整復学会風景

- 平成25年2月26日(火)

第5回役員会(北九州パレス)

- 平成25年3月2日(土)

- 北九州西・南・中央支部合同保険研修会
(TKP小倉シティセンター)
- 北九州西・南・中央支部合同役員報告会
(ステーションホテル小倉)

【学術部会】

平成24年度は10回の学術部会を行いました。

テーマ『手関節周囲のマニュピレーション治療』

★今後とも支部会員の先生方のご協力の程宜しくお願い致します。

〈久留米南支部〉



広報通信員
柴 田 修 一

- 平成24年4月7日(土)

平成24年度定時総会

(ホテルニュー プラザ KURUME)

平成23年度事業報告・収支決算報告・平成24年度事業計画案等が報告されました。

〈平成24年度役員名〉

支 部 長	竹下 広利
副支部長	辻 未広
総 務	大住 祐司
経 理	手島 昌彦
副 総 務	柴田 修一

- 平成24年4月24日(火)

役員会(温怜堂整骨院)

- 平成24年7月6日(金)

役員会(温怜堂整骨院)

- 平成24年10月23日(火)

役員会(温怜堂整骨院)

- 平成24年12月8日(土)

久留米南・北支部合同生涯学習講演会



定時総会風景

「息育と足育で万病退散」

みらいクリニック院長 今井 一彰先生
(石橋文化会館小ホール2F)

- 平成24年12月11日(火)

役員会(温怜堂整骨院)

- 平成25年1月19日(土)

久留米南・北支部合同新年会(鳩屋別館)
松岡会長、塩川副会長に出席していただき、南・北支部会員と交流を深める新年会となりました。

- 平成25年1月24日(木)

役員会(温怜堂整骨院)

- 平成25年2月21日(木)

役員会(温怜堂整骨院)

【学術部会】

平成24年4月27日から平成25年2月20日まで計13回、温怜堂整骨院で行われました。

テーマ 頸部痛に対する施術法

(学術部長コメント)

久留米南支部では、入会順による論文作成(発表)を行っています。該当年度の会員の先生には、学術部員一同協力させていただきますので、今後ともよろしくお願い致します。

〈久留米北支部〉



広報通信員
池田昌隆

- 平成24年4月7日(土)
平成24年度定時総会
(ホテルニュープラザKURUME)
平成23年度事業報告・収支決算報告・平成24年度事業計画案等が報告されました。

〈平成24年度役員名〉

支 部 長	小山田 哲
副支部長	竹下 栄作
総 务	池田 昌隆
經 理	古賀 健
副 総務	岩永 義徳

- 平成24年4月24日(火)
役員会(温怜堂整骨院)

- 平成24年7月6日(金)
役員会(温怜堂整骨院)

- 平成24年10月23日(火)
役員会(温怜堂整骨院)

- 平成24年12月8日(土)
久留米南・北支部合同生涯学習講演会

「息育と足育で万病退散」

みらいクリニック院長 今井 一彰先生

(石橋文化会館小ホール2F)

今年で2回目の一般参加可能な講演会を行う事が出来ました。
多くの市民の方にも参加頂き大変喜ばれました。

- 平成24年12月11日(火)
役員会(温怜堂整骨院)

- 平成25年1月19日(土)
久留米南・北支部合同新年会(鳩屋別館)

松岡会長・塩川副会長にも出席頂き、会員相互の親睦を深めることができ、成功裡に終わりました。

- 平成25年1月24日(木)
役員会(温怜堂整骨院)
- 平成25年2月21日(木)
役員会(温怜堂整骨院)
- 平成25年3月7日(木)
役員会(温怜堂整骨院)
- 平成25年3月23日(土)
保険研修会(ホテルニュープラザ久留米)



生涯学習講演会風景

【学術部会】

平成24年4月27日から平成25年2月20日までに計13回、温怜堂整骨院で行われました。

〈学術部長コメント〉

いつも、学術部活動にご協力頂き有難うござります。

久留米北支部では毎年、福岡県整骨医学会に向けた論文の執筆を、会員順にてお願いしております。論文作成というと、大変な作業のようですが、日々の臨床で疑問に思われることや、なぜか分からないけど効果がみられる治療法など、テーマは何でも結構です。それが、同じことで悩んでる先生のヒントになると思います。

今後とも、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

〈大牟田・有明支部〉



広報通信員
森 康徳

- 平成24年4月5日(木)
平成23年度監査
- 平成24年4月12日(木)
平成24年度定時総会(大牟田文化会館)

〈平成24年度役員名〉

支 部 長	稻又 秀臣
副支部長	古賀 龍児
会 計	平河洋一郎
学 術	高村 隆博
広 報	森 康徳

- 平成24年5月24日(木)
役員会(稻又整骨院)
- 平成24年6月12日(火)
大牟田地域健康推進協議会(大牟田医師会館)
- 平成24年7月3日(火)
大牟田地域健康推進協議会総会(大牟田医師会館)
- 平成24年7月19日(木)
役員会(稻又整骨院)

- 平成24年8月10日(金)
第1回健康展合同実行委員会(大牟田医師会館)

- 平成24年8月21日(火)
定例会(大牟田文化会館)
- 平成24年8月24日(金)
第2回健康展合同実行委員会(大牟田医師会館)

- 平成24年9月9日(日)
大牟田みんなの健康展(大牟田文化会館)
- 平成24年10月18日(木)
役員会(稻又整骨院)
- 平成24年11月11日(日)



定時総会風景

青少年武道大会救護活動
(大牟田高校柔道場)

- 平成24年12月13日(木)
役員会(稻又整骨院)

- 平成25年1月19日(土)
大牟田健康反省会、役員慰労会

- 平成25年1月23日(水)
役員会(稻又整骨院)

- 平成25年3月9日(土)
定例会・保険研修会、懇親会
(大牟田文化会館)

- 平成25年3月21日(木)
役員会(稻又整骨院)

- 【学術部会】
医学会に向けて論文作成のため計12回開催
(柳川整骨院)

新入会員 紹介

入会にあたって



福岡南支部
古川祐一
入会年月日/H23.11.28
第一医療リハビリテーション専門学校 H21年卒

柔道整復師の免許を取得して4年目になり、院の責任者としてももうすぐ1年が経とうとしています。まだまだ、レセプトや、保険取扱いについて知識が浅く、(社)福岡県柔道整復師会の皆様にご教授頂き、本当に感謝しております。

近年、保険制度の改定や、柔整学校の乱立など我々柔道整復師にとって非常に厳しい世の中になりつつあります。だからこそ、もう一度柔道整復師の業務を見直し、先輩方が作り上げてきた日本古来の業を活かすべきだと感じます。

そして、一人でも多くの柔道整復師が誇りをもち、感謝されていけばどんな時代にも必要とされていくと思っています。そういう人材を育成することも私の使命と思いますので、責任を持って日々の業務にあたって行きたいです。

これからもご指導の程、よろしくお願い致します。



福岡東支部
井出慎一郎
入会年月日/H23.11.30
福岡医健専門学校 H22年卒

厳寒の候、おかわりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

私は、平成23年12月に入会させて頂きましたが、早いもので一年が過ぎました。振り返れば、本当にあつと言う間の1年だったように思います。

その年は、柔道整復師免許を取得してから、おおよそ2年目にあたる年でした。

施術にあたらせて頂く事や、患者様から先生と呼んで頂くことに、良い意味でも悪い意味でも"慣れ"

が生じて来た頃でした。そんなおりに、諸先輩方の活躍されている中に入会させて頂く運びとなったのですが、それにあたり非常に身の引き締まる思いがしたのを今でも思い出せます。

人間、慣れる生き物であるが故、日々自省の念を持って業務にあたらなければならぬということを、入会をきっかけに強く感じた次第です。

2013年、始まってまだ間もないですが、私のような若輩者にこのような機会を与えて下さった柔道整復師会の先輩方に、厚く御礼を申し上げて、簡単では御座いますが入会にあたっての挨拶とさせて頂きます。

福岡東支部
中尾泰洋
入会年月日/H23.12.20
福岡柔道整復専門学校 H21年卒

私は大学を卒業し、福岡柔道整復専門学校に入りました。柔道整復師になってみたいと思った理由は、高校生時代にブレイクダンスをしていました。無理な体勢や力を使うダンスだったため体の関節や筋肉を痛める事が多く、人生で初めて整骨院にお世話になりました。

その時、いつも違う状態の痛めた体を丁寧に診ていただき、ベストな状態にしでもらいステージで踊っていました。ほかには地域の方々が喜ぶ姿や先生方が楽しそうに患者さんと話をしたり、施術をしている様子を思い出しました。

このような事があり、私も人の役にたてる仕事をしたいと思い柔道整復師の道を選びました。

現在は、はなみずき整骨院で地域の方々のお体をベストな状態にするため、まだまだ未熟ですが勉強をしながら、今後も精進していきます。

入会にあたっては、同期の先生に進められた事と自分で調べて入会を決めました。整骨院の業務でわからない事がまだ多くありますが、問い合わせ

ると親切に教えて頂けるのでとても感謝をしております。

今年は柔道整復師会の講習会や勉強会に積極的に参加していこうと思います。まだまだ未熟者ですが、宜しくお願ひ致します。



北九州西支部
福島央嗣
入会年月日/H23.12.22
福岡柔道整復専門学校 H21年卒

平成23年1月に北九州市八幡西区にて開院させていただきました福島央嗣と申します。

まず、この場をお借りして福岡市東区で研修させて頂いた恩師と諸先生方、また入会に際して骨を折って頂いた事務局の方々に御礼申し上げます。

早いもので入会、開院より一年が経とうとしております。

保険制度、養成校の増大、施術所乱立の中、個の力では厳しいと感じ、会の考え方に対する賛同、入会させて頂きました。現在も所属支部支部長始め、諸先生方に指導賜り日々励んでおります。

諸先生方を目標に取り組みたいと考えております。未熟ではありますがご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願ひ申し上げます。



筑豊支部
瀧井政仁
入会年月日/H23.12.27
福岡柔道整復専門学校 H20年卒

この度、入会させていただきました瀧井政仁と申します。

平成24年1月に飯塚で「瀧井鍼灸整骨院」を開業させていただきました。

入会にあたり、ほかの先生方と接することができ、情報交換やアドバイスをいただける機会が増えました。

先輩方から頂いた情報やアドバイスをもとに、それぞれの患者様にあった治療を考え、より良い治療を提供していきます。

また患者様の痛みに共感し患者様が前向きに治療に取り組んでいただけるよう、スタッフと一緒に治療に専念したいと思います。

そして患者様が困った際に気軽に頼っていただけの雰囲気や、笑顔のあふれる明るい整骨院を目指して努力いたします。

まだまだ分からることが多く不安や戸惑いもありますが、今まで以上に患者様への治療と、健康維持の力添えができるよう日々勉強に励みたいと思います。

ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



福岡南支部
佐野寛明
入会年月日/H23.12.27
福岡柔道整復専門学校 H21年卒

この度、入会させていただきました佐野と申します。

施術管理者として横山整骨院(中尾院)を任せていただけたことになりましたが、このような立場は初めての事でこの一年、院長や周りのスタッフには大変ご迷惑をおかけし、また、いたらぬ点などをしっかりサポートしていただきました。

事務的な内容で不明な点は(社)福岡県柔道整復師会様にご質問させていただくと、とても丁寧に回答をしていただきましたし、広報誌を拝見しますと、様々な活動をされており業界全体を盛り上げてくださっている事にも大変心強く感じました。

自分ひとりでは何もできないことをあらためて実感したとても感慨深い一年になりました。

助けていただいた全ての方々に感謝し、またこの気持ちを忘れずにこれからも一生懸命努めたいです。

これからも整骨院業界に微力ながらお役に立てられますよう精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



北九州南支部
二木省吾
入会年月日/H24.1.10
福岡柔道整復専門学校 H15年卒

たくさんの方々に支えられ独立・開業そしてこの一年、色々な経験をさせて頂きました。

寒さ厳しい真冬の候、大晦日も正月も返上で開業準備を手伝ってくれた家族、多くの先輩方からの激励、本当にありがとうございます。

開業してからは山あり谷あり試行錯誤の繰り返しで、その度に周囲の方からの叱咤激励を頂きながら腐らず今までこれたのだと思います。

この一年、私の中で「人と人との繋がり」の大切さを改めて実感いたしました。幸い生まれ育った地元で開業することができ、来院される患者様はもちろん地元の方が多く、私の事や家族の事を知ってくださる方々、母校の恩師や同級生、先輩後輩など繋がりが繋がりを呼び心強くとても嬉しく思いました。

これからも繋がりを大切に、お世話になってきた方々や地域の方々に貢献できるように、一生懸命感謝の気持ちで努めていきたいと思います。

これからもふたつぎ整骨院をよろしくお願ひ致します。



福岡東支部
佐藤達也
入会年月日/H24.1.23
福岡医健専門学校 H21年卒

平成24年2月に糟屋郡粕屋町で「はるまち駅前整骨院」を開業させて頂きました。

開業にあたりまして、いろいろとご指導を頂いた先生方、事務局の方々に心より感謝申し上げます。

生まれ育った町に地域貢献できるよう、初心と感謝を忘れず、努力してまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひします。



福岡西支部
藤田英二
入会年月日/H24.1.20
米田中部柔整専門学院 H6年卒

この度、福岡西支部のA会員として本会に入会致しました、藤田英二と申します。

私は、兵庫県の県立高校を卒業後、愛知県名古屋市の米田中部柔整専門学院(現:米田柔整専門学校)で学び、1994年に柔道整復師免許を取得しました。

卒業後は、そのまま学校の母体である医療法人米田病院で研修生として、5年間勤務させて頂きました。米田病院研修時代は、毎日遅くまで病院業務と自分の勉強(症例に対する調べものや、ギプス巻きの練習など)に追われる日々でしたが、柔道整復師としての基礎をたたき込まれたと思います。

米田病院での研修を終えたあと、妻の実家である福岡西支部の野口整骨院にて、B会員として勤務して参りました。

一昨年の12月に義父の野口幸男が他界てしまい、跡を継ぐ形でA会員に入会させて頂いた次第です。

まだまだ義父から学ばなければいけなかつたことも多く、若輩者の身ですが、亡き義父のモットーであつた「地域に愛される整骨院」を目指して努力していきたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



福岡西支部
山田晃裕
入会年月日/H24.1.20
福岡医健専門学校 H19年卒

この度、平成24年2月より入会させていただきました、山田晃裕と申します。

まだまだ経験が浅く初めてのことばかりで毎日が緊張し、戸惑いや不安が多々ありましたが、会員の先生方、事務局の方々、スタッフの力を借りて約1年が過ぎ新年を迎える事が出来ました。

毎日が日々勉強の中でこれまで、沢山の諸先生方にご指導いただき感謝しております。

入会にあたって少しでも地域住民の健康増進に貢

献できるように日々知識、技術の向上を心がけ、患者様のうたえを聞き逃すことなく誠意をもって接していくたいと思っています。

まだ柔道整復師として未熟者の私ですので、諸先生方にはご迷惑をおかけすることばかりだとは思いますが、皆様のお役にたてるように日々精進していきたいと思います。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。



福岡南支部
安部亮兵
入会年月日/H24.1.31
大分医学技術専門学校 H20年卒

私は新規開業ではなく、分院長という形で管理柔整師をさせていただいております。

10ヶ月が経ちますが、来院される患者様が少しでも早く良くなられるようにと、日々奮闘しております。技術だけでなく、患者様一人一人の声をしっかりと聞く事ができる様、医療に従事する者としての心構えも養っていきたいと思っております。地域に根付いた、患者様に頼られる整骨院を目標とし、今後も精進してまいります。

まだまだ未熟者ですので、諸先生方にはご迷惑をお掛けする事があるかと思いますが、今後とも御指導・御鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



久留米北支部
松井義彦
入会年月日/H24.1.26
福岡柔道整復専門学校 H14年卒

私は今年(平成25年)54歳になります。

ここまで生きていると色んなことに遭遇します。楽しいことや辛いこと、嬉しいことや悲しいこと。私は「何のために生きているのか」という命題の答えを求めて、ここまで来た気がします。

そしてやっとその答えらしきものを見つけました。人は誰でも「幸せを求めて生きている」と思います。この「幸せ」というものの真理を理解できれば良いだ

けです。

柔道整復師の仕事は社会に貢献することを直接実感できる素晴らしい仕事です。この仕事を通じて私は「幸せ」を自分のものにしたいと思います。



大牟田・有明支部
寺崎大
入会年月日/H24.2.2
赤門鍼灸柔整専門学校 H10年卒

平成24年2月に、柳川市にて開業させて頂きました「てらざき整骨院」の寺崎大と申します。

開業して1年ほどになりますが、施術や経営はもちろんですが、地域に密着していくことの難しさを痛感しております。

地元の患者様に信頼され、「ここに来て本当によかったです」と、言っていただけの整骨院を目指して、スタッフとともに、精一杯努力していきたいと思っています。
どうぞよろしくお願ひ致します。



福岡西支部
内田大輔
入会年月日/H24.2.8
福岡医健専門学校 H20年卒

この度、平成24年2月に糸島市にて開院させて頂きました内田大輔と申します。

早いもので開院してから1年が過ぎようとしています。

研修時代と違い、院長という立場になり難しさ、大変さを痛感する毎日ですが、日々進歩していくよう勉強し、努力していきたいと思います。

そして少しずつ、患者様、地域の皆様に信頼していただける人間に成長していきたいと思います。

最後になりますが、開業に際しまして先輩の先生方をはじめたくさんの方にご指導、ご協力いただきありがとうございました。

まだまだ若輩者ですが、今後もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



福岡東支部
ヒロ
廣 岡 佑 介
入会年月日/H24.3.9
福岡医健専門学校 H20年卒

平成24年3月より管理柔整師となりました。本多院長を始め、諸先生方には御高配頂き大変感謝しております。

痛みに悩む患者様の役に立ちたい一心でやってますが、症状によっては治りにくいものもあり治療の難しさを痛感しています。

勉強の毎日ですが、時に患者様より温かい言葉を頂くこともあり、充実した日々を送っております。一緒に働いている仲間、関係者の方々、地域の皆様の温かいご支援によって今の自分が在るのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

今後少しでも医療に貢献出来るよう努力していきたいと思います。



北九州西支部
ア
安 島 洋 一
入会年月日/H24.4.1
東北柔道専門学校 H11年卒

こんにちは。平成24年4月に北九州市八幡西区下上津役にてヤマト整骨院を開業致しました安島と申します。

私は福島県いわき市出身なのですが、免許を取得してから縁があって約13年九州内の整骨院で研修させていただきました。

本来、平成23年中に地元福島県内にて開業予定でした。3月に一時帰省し、いろいろと開業の準備をしていましたがちょうど震災にあってしまいました。津波の被害は幸運にも少なく、実家も半壊程度ですんだのですが、原発の影響が残ったため、開業場所について家族とも話し合い、また研修先のすみだ整骨院の角田院長始め諸先輩方に相談にのっていただきました。しばらく帰るか帰らないかで悩みましたが、心機一転でこちらに開業することを決めました。

私は、割と長い間研修していたため、いろいろな経験を積ませていただいたのですが、特に最後の3年

は角田先生の元でレントゲンの読影や、徒手検査を通じての病態把握の大手さ、捻挫、骨折等の外傷治療を通じての(ほねつぎ)としての心構え、患者様に還元するために常に勉強を怠ってはいけないということを学ばせていただきました。いかに自分ができていなかを知れた貴重な3年でした。

今後は、今まで学んだこと患者様に還元していき、治療を通じて地域や社会に貢献できるような柔道整復師をめざしていきたいと思っております。

久留米北支部
スガ
菅 村 光 祐
入会年月日/H24.4.1
大分医学技術専門学校 H20年卒

昨年4月に社団法人福岡県柔道整復師会に入会させて頂きました。

学生の頃より望んでいた柔道整復師として仕事が出来ることに幸せをかみしめています。

開院当初はわからない事だらけで不安も多かったのですが、諸先輩方、事務局の方々に御指導して頂きましたことを感謝致しております。

毎日勉強することばかりで充実した日々を送っています。

患者様との信頼関係を深く築く為にも、志を高く保ち、謙虚な姿勢で取り組んでいきたいと思います。

若輩者ではございますが、今後とも御指導・御鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

久留米北支部
トク
徳 田 純 也
入会年月日/H24.4.2
福岡柔道整復専門学校 H16年卒

この度、入会させて頂きました徳田純也と申します。父親が昭和61年に開業し27年続けてきた院を4月に引き継ぎました。

地元小郡で私の小さい頃から1日も休まず営業し、地域医療を担ってきた院の後を継ぐのは大変なプレッシャーと期待がありました。

地域医療と福祉に貢献することを目標に、1人1人

の患者様に真剣に向き合って治療していきたいと思っています。

私をこのような、人に喜んで頂ける職に就かせてくれた親父と柔道整復師としての心構えを教えて頂いた先輩、膝の治療に関すること・整形外科の考え方を教えて頂いた「堺整形外科医院」堺研二先生、スポーツ外傷に関する知識を教えて下さった「武田スポーツ整形外科クリニック」武田康志先生、本当に感謝しております。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。

福岡南支部
ノ
野 村 康 治
入会年月日/H24.4.1
アムス柔道整復師養成学院 H15年卒

平成24年4月から入会しました野村康治です。

大阪の専門学校を卒業し、福岡の加島整骨院で9年間研修しました。その間に鍼灸の免許を取得し、現在、加島整骨院の分院長をしています。

長い歴史のある整骨院を任されるということでたいへん荷が重く感じています。まだまだ未熟ですが、柔道整復師として人とかかわる以上は責任と誇りを持って職務に取り組みます。

自身の分をわきまえ行動し、感謝を忘れず努力し地域に貢献できるように技術と人間性を磨いていきたいです。よろしくお願ひ致します。

福岡東支部
クサ
草 野 智 親
入会年月日/H24.4.16
福岡柔道整復専門学校 H22年卒

私は福岡柔道整復専門学校を卒業後佐々木整骨院にて研修し、平成24年5月に佐々木整骨院の分院として福岡市東区馬出に駅前通り整骨院を開業致しました。

今まで院長の補助として勉強してきましたが、いざ自分が院長として始めてみるとうまくいかない事多々あり、周りのスタッフ、多くの患者様に助けられながら働いていることに気付かされ、今は日々仕事

ができる喜びに感謝でいっぱいです。

これから治療技術の更なる向上を目指し、患者様の期待に応えられるよう努めていきたいと思います。

今後とも皆様のご指導の程よろしくお願ひいたします。



福岡東支部
カナ
金 城 慎
入会年月日/H24.4.1
福岡医健専門学校 H23年卒

この度入会させて頂きました、金城慎と申します。初めてのことばかりで戸惑いや不安はありますが地域に愛される、又、多くの患者さんが来たときよりも、笑顔になって帰って頂くような整骨院を目指としています。

日々の業務や技術、接客に対し常に向上心をもって努力、精進し、初心忘れずの姿勢で取り組んでいきます。

今後も皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します



福岡東支部
マ
真 崎 啓 介
入会年月日/H24.4.1
福岡医健専門学校 H19年卒

この度、入会させて頂きました真崎啓介と申します。まだまだ分からぬことだらけで戸惑いもありますが、諸先輩方のご指導を受けながら日々の業務を行っています。

一日一日、毎日が勉強の日々ですが、その中でいつも思うことは自分の非力さです。今の自分があるのは、周りにいる皆様のおかげであると、ここ最近また強く感じるようになりました。謙虚な気持ちや真摯な態度を常に心がけ、柔道整復師として医療人として人として、もっと成長できるように、また地域の方々に少しでも喜んで頂けるような整骨院にする為に努力していきたいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。



北九州西支部
タカ イ ショウ ゴウ
高 井 秀 剛
入会年月日/H24.4.1
福岡医健専門学校 H21年卒

平成24年4月より入会させて頂きました高井と申します。

開院当初はわからないと事ばかりで諸先輩方に大変ご迷惑をおかけしました。北九州西支部長、並びに事務局の方々のご指導に心より感謝申し上げます。

開院して半年が過ぎましたが、今までの立場と違い、より責任が増え尚且つ様々な症状の患者さんに対して必ず結果を出すという事に精一杯でした。

しかし、患者さんの感謝の言葉と笑顔にささえられ頑張っています。

まだまだ未熟な点が多いと思いますが、地域密着型の院として地域の方々に頼ってもらえる整骨院をめざし、より一層精進していきたいと思いますので今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



大牟田・有明支部
ツツミ ケン イチ
堤 賢 一
入会年月日/H24.4.11
福岡柔道整復専門学校 H20年卒

私は平成20年福岡柔道整復専門学校卒業後、宮崎県の川北接骨院にて三年間、その後分院の尾鈴接骨院にて分院長として一年間勤務させていただきました。

そして平成24年5月、地元である柳川市大和町で開院いたしました。

これから業界としても厳しい環境になっていくと思いますが、地域医療に貢献する事を目標に痛みと向き合い、一生懸命勉強し続け日々の診療にあたって参ります。

まだまだ未熟ですが、これから多くの経験を積み、それを自分の力とし、患者様から信頼される接骨院に成長していきたいと思っております。

先輩の皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。



福岡西支部
ナカ ムラ マサ ノリ
中 村 将 則
入会年月日/H24.4.11
福岡柔道整復専門学校 H21年卒

平成24年4月の開業と同時に入会いたしました。近年、私が思っていましたのが来院される患者の急性外傷が減っているのでは、ということでした。

今の時代、整骨院(接骨院)が本来、何を行うところなのか理解されてない方も少なくありません。

また、せっかく学んできた(特に骨折、脱臼)事が活かされる機会が与えられないのはとても残念でなりません。

そこで、今の状況に只々指を銜えるのではなく、その機会があるところは何処だろうと考えた結果、現場でした。

学生時代に一日でしたが金鶯旗や私が柔整師になる前にアルバイトをしていたスキー場等が思い浮かびました。

やはり、何も治療道具等がない場所。そして、苦しんでいる方が目の前にいるあの状況こそ私たちが一番活躍できるのではないか?

今後、柔道整復師会として行われている少年柔道もそうですが、それ以外にも様々な場所で個人的に、また、会としても、そのような場所に積極的に足を運びたいと思います。

まだまだ未熟者ではありますが、これからよろしくお願いいたします。



福岡南支部
アビ ル セツ
阿比留 摂
入会年月日/H24.4.20
福岡医療専門学校 H23年卒

平成24年5月に福岡市南区にて開業させて頂きました阿比留摂と申します。

40歳を過ぎてから専門学校に入り、3年間、苦しみと学ぶことの楽しさの狭間でもがきながら、資格取得しました。

卒後研修は、北九州市八幡西区の山村整骨院でお世話になり、山村先生の温かい御指導のおかげで、戸

惑いながら患者さんと接しているうちに少しづつ柔道整復師としての心構えを理解し、無事に終わることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

開業にあたり、山村先生や支部長の久保山先生、柔道整復師会の諸先生方の御指導のおかげで、何とか開業することができ、感謝しております。

開業してみると、想像していたよりも整骨院を取り巻く環境のあまりの厳しさに、心が折れそうになりますが、「継続は力なり」と自分に言い聞かせながら奮起し今に至っております。

患者さんとの向き合い方や地域との関わり方など、自分の力量不足を日々痛感しますが、今年は、地域の患者さんから必要とされる整骨院として、より一層努力して参りたいと思います。

今後ともご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。



福岡南支部
ザル ワタリ ユウ キ
猿 渡 優 希
入会年月日/H24.4.20
福岡天神医療リハビリ専門学校 H23年卒

私はA会員に新しく入会させてもらい、非常にワクワクしています。今まで参加できなかった「保険研修会」や「学会」、「各勉強会」など、これから色々参加できるのかと思うとワクワクが止まりません。

先日の、「第41回日整九州学術大会大分大会」にて、堂々と肩関節脱臼整復法の比較検討を発表していた、福岡南支部の角家会員、とても素晴らしい、僕も将来はああいう発表ができるような柔道整復師になりたいと強く思いました。

A会員に入会したばかりで、まだまだ分からぬこともたくさんありますが、これから研修会・学会・勉強会など、色々な行事に積極的に参加し、しっかり学んでいこうと思っています。

今後、色々と迷惑をかけると思いますが、しっかりと頑張っていきますので、よろしくお願ひします。



北九州中央支部
ヤマ モト タカ オ
山 本 崇 雄
入会年月日/H24.5.9
福岡柔道整復専門学校 H17年卒

平成24年5月に入会させていただいた、小倉北区吉野町の「のぞみ鍼灸整骨院」院長の山本崇雄と申します。

入会にあたって、日々の施術はもちろんですが、これまで以上に勉強をしなければいけないと思っています。

なかなか開業すると学ぶ機会も少なくなってくるので、本を読むことも大事ですが、手技の向上がさらに必要だと感じています。多くの患者さんを診ていくなかで疑問や施術法に悩むことも多くあり、その疑問をそのままにしないためにも必要だと思いました。

そのため、今は戸畠の田中整骨院の田中先生の勉強会グループに入れていただき勉強させていただいている。これから益々厳しい時代になっていく中で、患者さんに選ばれる整骨院を目指して日々努力していることを思います。



福岡南支部
モリ リョウ タ
森 良 太
入会年月日/H24.5.7
福岡天神医療リハビリ専門学校 H22年卒

私は、福岡市中央区福浜で平成24年6月に新規開業いたしました。

生まれ育った地元での念願の開業でしたが、正直不明な点が多くとても不安が大きかったです。しかし、開業までの手順や必要な届け出の数など柔道整復師会に入会したことで助けて頂いた事が多くあり、不安なことも相談にのって頂けとても助かりました。

入会後も、研修会を数多く実施していただいているので、日々の診療など多方面で勉強させていただいております。

これから先、まだ知らない事を勉強し、そして追求していきたいと思っており、研修会の内容を参考にして日々精進していきたいと思っています。



福岡東支部
山下淳一
入会年月日/H24.5.7
福岡柔道整復専門学校 H22年卒

この度、入会させていただきました山下淳一と申します。

入会させて頂き、半年以上が過ぎました。心構えも変わり、毎日があつという間に過ぎていきます。私がいつも心掛けている事は、思いやりの心と丁寧での確な施術です。

まだまだ経験も浅く、未熟ですが、これからも地域住民の健康を守り、維持・向上するため質の高い施術を提供できる柔道整復師を目指し、地域社会の健康増進の発展に貢献できるよう努力していきます。

これからも初心を忘れずに日々精進していきますので、変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



福岡東支部
川越康平
入会年月日/H24.5.18
福岡柔道整復専門学校 H20年卒

平成24年6月に福岡市東区に開業させて頂きました「川越はりきゅう整骨院」の川越康平と申します。

開院して半年がたちましたが、研修時治療のことだけを考えていれば良かったのと違い、経営や保険請求のことなどわからないことばかりで、大変なことだと改めて実感しております。

しかし、これまでに自分が学んできた経験を活かし、地域の皆さんに信頼される整骨院になるよう努力していきたいと思います。

まだまだ未熟ですので研修時代お世話になった西宮院長初め、諸先輩方や事務局の方にご迷惑をおかけしますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願ひいたします。



福岡南支部
渡邊寿徳
入会年月日/H24.5.29
福岡柔道整復専門学校 H21年卒

平成24年6月、春日市に開院しました「オスカーエンボイ」の渡邊でございます。

私は、子どもの頃から柔道をやり柔道をベースにして人生を考え送って参りました。

昨今は他のスポーツの方々とも触れ、加えて、人生の先輩である年上の方々からも多くを学び取ることができる人間としての幅を広げようと努力しております。

多種スポーツでのケガや、高齢化社会になってきております近年、お年寄りに優しい整骨院を目指し地域に貢献したいと考えております。

また、青少年(小学生、中学生、高校生、大学生、青年)に関しては、若輩者ですが機会があれば私が体験したことを話してそれが参考になればと思います。

(社)福岡県柔道整復師会のご指導を受けながら社会に寄与する形が出来ればと思います。



福岡南支部
田中晃平
入会年月日/H24.6.1
福岡柔道整復専門学校 H22年卒

この度、入会させていただきました、田中晃平と申します。

平成24年6月より院長を引き継ぎ、日々勉強することばかりですが、地域の方々の支えやスタッフの協力により、一歩一歩成長する日々が続いております。

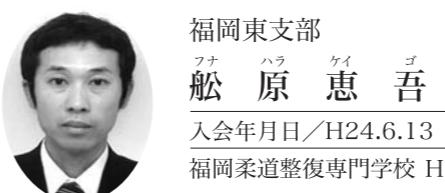
また、引き継ぎ当初は分からぬことが多い、その度に、ご指導ご協力頂きました諸先輩方や事務局の方々に心より感謝申し上げます。

このご恩を返せるように、日々の勉強を怠らず、知識・技術の向上はもちろん、患者様の症状に真剣に向き合い、考える力をしっかりとつけ、一人でも多くの患者様に信頼され親しみのある柔道整復師に成長していきたいと思います。

そして、患者様の事を第一に考え「喜んでもらえる・

選んでもらえる」地域密着型の整骨院となっていける様、スタッフと共に精進していきたいと思います。

最後にはなりましたが、まだ未熟者ではございますが、今後とも諸先輩方にはご指導のほどよろしくお願い致します。



福岡東支部
船原恵吾
入会年月日/H24.6.13
福岡柔道整復専門学校 H20年卒

はじめまして。平成24年6月15日に福岡市東区香住ヶ丘にかすみ整骨院の管理柔整師として勤務している船原といいます。

開院して半年が過ぎ、少しずつではありますが、地域の皆様の健康にお役に立てるのではないかと思います。また、大学、高校の近くということもあり、多くの部活動生が怪我の治療に来院しています。私自身スポーツが好きで、多くのスポーツ選手の治療に関われることにやりがいを感じています。

さて、今回、(社)福岡県柔道整復師会に管理柔整師として入会致しました。管理柔整師になると、施術をするのはもちろんですが、療養費請求に関する責任があると思います。入会時やその後の保険講習会で色々な話を聞き、管理柔整師として、また(社)福岡県柔道整復師会の会員として自覚と責任を持ち、整骨院を運営していきたいと思います。何か分からぬことがありますても(社)福岡県柔道整復師会や先輩方に相談できるので安心です。

まだまだ未熟者ですが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。



北九州西支部
徳永和也
入会年月日/H24.6.21
福岡柔道整復専門学校 H19年卒

平成24年7月に八幡西区にて「あさかわ整骨院」を開院させていただきました。

開院にあたりましてご指導いただいた山村院長をはじめ、諸先生方、スタッフの方々には深く感謝しております。

はやいもので開院して半年が過ぎました、今現在、自分自身で考え方をもち、行動することがどれだけ大切であるか身をもって感じております。

これから一つ一つの経験を積み重ね治療に活かし、地域に貢献できる柔道整復師を目指し精進していきたいと思います。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



福岡東支部
大國聖史
入会年月日/H24.6.26
帝京医学技術専門学校 H17年卒

会員の皆様方には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

この度、福岡東支部より糟屋郡久山町にて大國整骨院を開業致しました、大國聖史と申します。

研修は、東京都板橋区にある板橋接骨院の清水先生の下で務めさせて頂きました。

今回の入会にあたりまして、柔道整復師として、地域に寄り添った、患者様のご期待に添える様な、徒手で行う医療行為であることを目指して、日夜努力して参りたいと思う所存であります。

まだまだ未熟者で御座いますので、今後とも皆様方にご指導ご鞭撻頂ければ幸いに存じ上げます。



福岡南支部
青木 昇平
アオキ ショウヘイ

入会年月日/H24.7.11
福岡天神医療リハビリ専門学校 H24年卒

はじめまして、8月より入会・草香江に青木はりきゅう整骨院を開業しました、青木昇平と申します。

まだまだ、未熟者ですが気持ち・精神的にも全力で患者さんの治療に頑張っているところです。

私は高校から大学までですが陸上部に所属し毎日毎日、練習を重ねてきました。練習を重ねれば当然ですが疲労・ケガはつきもので、シンスプリント・肉離れ・捻挫などを多々、経験してきました。

そのたびに整形外科・整骨院・鍼灸院にお世話になり、治療はもちろんですがリハビリ・トレーニングなど教えて頂いているうちに、自然と興味を持つようになりました。

大学卒業後に仕事(研修)をしながら勉強をしていくうちに、「整骨院にも色々な考え方を持って、色々なやり方をされているんだな。」と知りました。

これからはりきゅう整骨院を続けて行く上で、必ず治療面・経営面などで辛い時期が出てくると思います。ですが、私が柔道整復師・鍼灸師になりたい、患者さんを治したいと思った頃の気持ち、「初心」を忘れず日々精進していきたいと思います。



福岡西支部
土方伸友
ヒジカタシンスケ

入会年月日/H24.7.19
日本工学院八王子専門学校 H19年卒

平成24年7月に早良区で小田部整骨院の院長として働かせていただいております。土方と申します。

開院にあたり、これまで指導していただいた先生方や、患者様には大変感謝しております。

院長としての経験がなく初めてのことばかりで不安や、戸惑いは多々ありますが、前に踏み出さなければ道は開けません。常にチャレンジする気持ちを忘れずに、患者さんと正面から向き合い、地域の方々に愛される整骨院を目指して、日々治療に励みたいと思います。

柔道整復師としても、人間としても未熟な私が一人前の柔道整復師になるには、事務局の職員の皆様、会員の先生方のお力添えが必要です。今後ご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、感謝の気持ちを忘れないで精一杯努力していきたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



福岡南支部
角 裕太
ヌミ ユウタ

入会年月日/H24.8.10
福岡柔道整復専門学校 H19年卒

この度、平成24年9月より大野城市大池に「すみ整骨院」を開院させて頂きました。

平成19年に福岡柔道整復専門学校(現 福岡医療専門学校)を卒業し、同年免許を取得しました。

学生時代から筑紫野市の整骨院にて研修を積ませて頂いておりました。

私が研修時代から常に意識してきたことは、本物の技術と心の重要性です。

心なき者が、患者様を笑顔にできる技術を習得することはできませんし、仮に技術があったとしても心のこもった治療はできないと思います。

年間5,000人を超える柔道整復師が誕生し整骨院も乱立する中で、本物の技術と心を持った施術者こそが必要だと考えています。

未熟な私ですが、患者様や地域の方々、諸先輩の先生方に喜ばれるような行動を常に心掛けて参ります。

精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



福岡東支部
吉永 順弘
ヨシナガタカラヒロ

入会年月日/H24.8.23
福岡医健専門学校 H23年卒

平成24年8月より入会させて頂きました、福岡東支部の「よしなが整骨院」吉永順弘と申します。

9月19日の開院より、早いもので3ヶ月が過ぎようとしています。

開院当初は分からぬことが多く、諸先生方をは

じめ多くの方々にご指導やアドバイスを頂き、大変感謝しております。

開院以来、「痛みに苦しむ患者様の役に立ちたい」と奮闘する毎日を過ごしており、少しずつですが患者様より感謝の言葉も頂けるようになってきたことを嬉しく思っております。

これらを励みに、施術者としての技術はもちろんのこと、医療従事者としての心構えをしっかりと持ち、初心を忘れず、地域貢献に全力で精進して参りたいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひいたします。



福岡南支部
二宮 征之
ニノミヤマサユキ

入会年月日/H24.8.28
大分医学技術専門学校 H20年卒

平成24年9月より入会させて頂きました二宮征之と申します。

前、院長より、『田口整骨院 平尾院』を引き継ぎ、研修時と違う日々の業務に追われておりますが、患者様のあたたかい笑顔とのふれあいに、たくさん助けていただいております。

まだ未熟者ではありますが、スタッフへの教育も自分自身の教育と思い、しっかりと学んでいきたいと思っております。

的確な指導、安心できる治療を心がけ地域のみな様に愛されるような整骨院を目指していきたいと思います。

最後になりますが、田口整骨院、支部会員の先輩方がいろんな方々の力を借りて、現在があると思っています。改めてこの場をお借りして、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

今後ともご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。



久留米北支部
荒巻 真介
アラマキシンスケ

入会年月日/H23.1.12
東京柔道整復専門学校 H21年卒

平成24年1月より小郡市で開業しました荒巻真介です。

同年10月15日、同じ小郡市内の七夕通りに移転しました。多くの方々のご協力を得ることで可能となつた移転でありまして、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

縁あって茨城県の木村晴信先生の下で修業することができたのは、開業した現在非常に大きな財産となつております。

しかしながら、開業して改めて積み重ねの重要性を痛感します。日々進歩向上しようとする意欲が、独立不羈の精神が院長には特に必要であり、確かな知識と技術による裏打ちこそが地域医療への貢献を可能にしていると思います。

私にできることは細やかではありますが、千里の道も一歩からの故にもありますように一歩一歩確実に歩んでいきたいと思います。

末文ではありますが、今後とも諸先生方のご指導、ご鞭撻のほどを宜しくお願い致します。



福岡西支部
西島 伴了
ニシジマトモノリ

入会年月日/H24.9.25
日本柔道整復専門学校 H14年卒

この度、社団法人福岡県柔道整復師会へ入会させて頂きました、西島伴了と申します。父が開院して以来40年続いた整骨院を継ぐことになりこれまでより一層気を引き締めていく覚悟であります。

小さなころより、父の背中を見て育ち同じ道を歩んできました。まだ未熟ではありますが、父が築いてきた志を引継ぎ、地域に密着した医療を行い、一人でも多くの方々に貢献できる質の高い治療を提供するため常に精進することを心掛けていきます。

ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。



福岡西支部

白 杣 大 輔

入会年月日/H24.10.23

福岡天神医療リハビリ専門学校 H24年卒

平成24年11月より入会させて頂きました、白杵大輔と申します。

私は、開業ではなく管理柔整師となり、糸島市のはうで分院長として施術にあたらせて頂いております。

開業から約2ヶ月が経とうとしておりますが、治療面だけでなく経営面などでも考えることが多々あり、開業するということの大変さ、難しさを実感しております。

しかし、今後も初心を忘れずに、日々勉強し、知識・技術ともに向上心を持ってスタッフ一同治療にあたり、患者様からの信頼を得られるような、そして明るく笑顔の溢れる院作りを行っていきたいと思います。

最後に研修先の手塚先生、開院の際にアドバイスを下さった先輩方に心よりお礼申し上げます。

まだまだ未熟ではありますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



福岡南支部

柳 和 宏

入会年月日/H24.10.26

福岡医健専門学校 H24年卒

このたび、福岡市南区清水3丁目で鍼灸整骨院雨青舎を開院致しました柳和宏です。

私はこの仕事についてよく思うことがあります。

私達の仕事ほど患者の皆さんとふれあう機会に恵まれた仕事はないのではないか？

私達は主に身体に対してアプローチすることを業としていますが、おのずとその方の内面と向き合うような状況が多くあると感じています。

日々の仕事の中でそのような部分や理解しようとする気持ちを忘れず、成すべきことをなし、学び続けたいと考えています。

諸先輩の先生方に、ご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、どうぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

事務局より

課長 後藤祐司

平素より事務局業務にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本誌紙面をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、公益社団法人への移行申請業務に明け暮れた一年だったように思います。総務部・経理部並びに顧問公認会計士の先生方を中心に打ち合わせ会議を重ね、申請自体は当初の予定通り8月に行なう事が出来ました。しかしながら、考えていたよりも公益社団法人への移行はハードルが高く、そのままトントン拍子で認定とはいかずに細かい修正を再三求められ、最終的には年明け1月の審議会において公益社団法人への認定を得ることが出来ました。時間こそかかりましたが、結果として無事に移行が出来ましたので、平成25年度からは公益社団法人の冠に相応しい事務局となるべく職員一同、心機一転業務に邁進する所存でございます。

また昨年も申し上げました本会ホームページについてですが、現在大幅なリニューアルを実施している最中でございます。会員の先生方から県事務局へ色々な要望が届いておりますので、建設的な意見は出来るだけ取り入れつつ、一般市民の方々にとつても役に立つ先進的なホームページ

となるように考えております。

近年、柔整業界は明るい話題が少なく、会員の先生方からも厳しいお話を伺う機会が増えているように感じております。そのような一方で事務局に対して温かいお言葉や期待を寄せて頂く機会もございます。私たちも厳しい現状を改めて認識するとともに、求められる要望や期待に添うことが出来るよう、会員皆様方あっての事務局であることを忘れずに、今一度気を引き締めて業務に取り組む所存でございます。今年度も昨年に引き続き温かいご支援とご協力、そして時には厳しく叱咤激励を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



事務局職員 左上から 福永、山口、岩佐、高橋、後藤、清原

会員訃報

吉田 雅弘 会員(福岡東支部) 享年 57才 平成24年3月20日没

心からご冥福をお祈りいたします。

投稿についてのお願い(広報部)

現在広報部では、春に福整広報、夏冬にJump Up Fukuseiを発行しております。各誌に掲載させて頂く原稿を募集しております。

【福整広報】

広報部より、原稿を依頼致します。其の折には御協力よろしくお願い申し上げます。

【Jump Up Fukusei】

- 身近なニュース、イベント等。(写真を中心に簡単なコメントを添えてください)
- こんなボランティア、サークル活動をしています。(写真にコメントを添えてください)
- 言いたい放題コーナー。(苦言、提言、希望、要望、独り言等。但し誹謗、中傷等はお断りします)
- QアンドAコーナー。(匿名、ペンネーム可)
- 自由投稿。(200字以内でお願いします)投書、投稿は県事務局広報部迄、随時受付しています。

※問い合わせは県事務局迄お願いします。

原稿提出の要項

- 1／用紙は県事務局に準備していますがその他の用紙でもかまいません。
- 2／はじめにタイトル、続いて支部名、氏名を記入の上、本文をお書きください。
- 3／判読困難なもの(乱筆・乱文・達筆な文字)は、編集に支障がありますので、句読点や括弧、固有名詞のふりがな等正確な記入をお願いします。(Eメール、CD-ROM、USB等によるデータでの原稿送付は大変助かります)
- 4／投稿文には、顔写真をおつけください。写真・図・イラストがありましたら一緒にお送りください。
- 5／投稿に関する詳しいお問い合わせは、県事務局まで、お気軽にお尋ねください。
- 6／原稿は随時受け致します。県事務局まで御送付ください。皆様方からのたくさんの原稿をお待ちしております。

■表紙の写真に添えて

写真提供／朝倉市教育委員会

秋月城本門(黒門)

黒門は、昭和36年県指定有形文化財(建造物)に指定されております。

もとは秋月氏の本城である古処山城の搦手(からめて)門で、それが秋月藩の成立後(1623年)に、秋月城の大手門として現在の秋月中学校前の瓦坂の奥に移されたといわれております。さらに垂裕(すいよう)神社の門として明治13年現在の場所に移されました。

まさにこの門は中世以来の秋月の歴史を見つめてきております。そして現在も秋月では旧城下町の敷地割りや道路、水路網などの基本構造がほぼ当時のまま利用されております。

筑前の中京都と言われる秋月には、春の桜と秋の紅葉の時期に多くの観光客の方がおとずれ、美しい自然と史跡を楽しめる人気の観光地です。

是非、皆様も朝倉市秋月へおいでください。

小山田 哲

支部広報通信員



左上から 井出先生 西本先生 安東先生 森先生 岩永先生 市川先生
柴田先生 竹原先生 松岡会長 勢木広報部長 白木原先生 梅村先生

編集後記

福整広報No.39が無事発行されますにあたり、お忙しいなか原稿を寄せて下さいました先生方のご協力に対し、心より感謝申し上げます。

また、私の不行き届きによりご迷惑をおかけすることも多々あり、深くお詫び申し上げます。

この広報誌につきましては、次号から公益社団法人として発行されることとなります。そして、その内容に関しましては、お気付きの先生も多いかと思いますが、前

号から少しづつ変更が加えられております。これは、公益社団法人移行を見据え、本会と会員を守ることに繋がる大切なことでもあります。ご理解とご協力のほど宜しくお願ひいたします。

最後になりましたが、先生方並びにご家族様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、私の編集後記とさせていただきます。



広報部長
勢木 博之